



SCITEX LX プリンタファミリ

メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド

#### **法律に関する注記**

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

#### **安全に関する注記**

操作と安全に関する指示をお読みになり、それらの指示に従ってプリンタを開始してください。

#### **商標**

Microsoft®および Windows®は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

# 目次

<b>1</b>	<b>安全に関する注意事項</b>	<b>1</b>
	一般的な安全に関するガイドライン	1
	感電による危険	1
	熱による危険	2
	発火の危険	2
	機械的危険	2
	重量のある素材による危険	3
	インクの取り扱い	3
	警告および注意	3
	警告ラベル	3
	緊急停止ボタン	5
<b>2</b>	<b>プリンタ ステータス</b>	<b>7</b>
	プリンタ ステータスを確認する	7
	プリンタ アラート	7
<b>3</b>	<b>キャリブレーション</b>	<b>9</b>
	プリントヘッドの軸合わせ	9
	素材送りの補正	10
	カラー キャリブレーション	12
	インク制限	14
	カラー プロファイル	15
	動的カラー登録	15
<b>4</b>	<b>ハードウェア保守</b>	<b>19</b>
	インクカートリッジを保守する	19
	プリントヘッドを保守する	19
	素材を保守する	19
	プリントヘッドの確認	20
	キャリッジ カバーのクリーニング	21
	キャリッジ レールのクリーニング	21
	硬化プレートのクリーニング (LX800 のみ)	24
	誘導ローラーのクリーニング (LX800 のみ)	24
	プリンタの外部をクリーニングする	25
	インク デポジットのクリーニング	25
	ライン センサーとエアゾール吸入口のクリーニング	26

メイン ローラーのクリーニング .....	27
ピンチ ホイールのクリーニング .....	27
プラテンのクリーニング .....	27
プリントヘッドのクリーニング .....	28
素材送りセンサーのクリーニング .....	28
素材のエッジホルダーのクリーニング .....	29
温度センサーのクリーニング .....	29
テンション ローラーのクリーニング .....	30
プリントヘッド プライマの保守 .....	30
キャリッジ油性フォームの交換 .....	32
インク コレクター フォームの交換 .....	33
ライン センサー ボックスの交換 .....	35
プリントヘッド クリーニング ロールとエアゾール フィルタの交換 .....	35
プリンタの移動 .....	39
プリンタ保守キット .....	40
クリーニング キット .....	40
<b>5 ソフトウェア保守 .....</b>	<b>41</b>
HP Internal Print Server の保守 .....	41
ファームウェアをアップデートする .....	42
<b>6 素材に関するトラブルシューティング .....</b>	<b>43</b>
素材が正しく取り付けられない .....	43
素材が詰まっている .....	43
素材がインプット側の芯に取り付けられていない .....	44
コレクターが巻き取りを途中で停止する (LX800 のみ) .....	45
コレクターが適切に機能しない場合がある (LX800 のみ) .....	45
コレクターが間違った方向で巻き取る (LX800 のみ) .....	45
コレクターでスピンドルから素材を外れる (LX800 のみ) .....	46
コレクターにスキューまたははまり込みがある (LX800 のみ) .....	46
コレクター上で素材が詰まっている (LX800 のみ) .....	46
素材がプラテンに張り付く .....	46
素材が排出されたときにインクが完全に乾燥していない .....	46
素材が平らではない .....	46
素材にしわがよる .....	47
素材にインクが残る .....	49
素材にインクの汚れがある .....	50
素材にオイルの汚れがある .....	50
<b>7 印刷品質に関するトラブルシューティング .....</b>	<b>53</b>
一般的なヒント .....	53
バンディング .....	53
白い直線が現れる .....	56
カラーの位置がずれる .....	56
印刷に粒状感がある .....	58
印刷が鮮明ではない .....	59

オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない .....	60
剥げ落ちたようなカラー .....	60
色が正確に再現されない .....	60
<b>8 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング .....</b>	<b>61</b>
インクカートリッジを取り付けられない .....	61
プリントヘッドを取り付けられない .....	61
インクカートリッジを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される .....	61
プリントヘッドを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される .....	61
プリントヘッドが過熱している .....	63
素材にプリントヘッドの傷が付く .....	63
不正なプリントヘッド クリーニング ロールのエラー .....	63
<b>9 その他のトラブルシューティング .....</b>	<b>65</b>
プリンタが起動しない .....	65
プリンタで印刷されない .....	66
プリンタの印刷が遅い .....	66
HP Internal Print Server が IP アドレスを取得できない .....	66
HP Internal Print Server がプリンタを検出できない .....	67
HP Internal Print Server のアップグレード .....	67
印刷ジョブ ファイルが正しく削除されない .....	67
カラー キャリブレーションに失敗する .....	67
<b>10 フロントパネルのエラー メッセージ .....</b>	<b>69</b>
<b>11 ヘルプが必要な場合 .....</b>	<b>73</b>
マニュアル .....	73
HP Proactive Support .....	73
HP カスタマー・ケア .....	73
サービス情報 .....	75
<b>付録 A プリセット作成フロー .....</b>	<b>77</b>
<b>索引 .....</b>	<b>79</b>



# 1 安全に関する注意事項

プリンタを使用する前に、安全に関する次の注意事項を読んで、装置を安全に使用してください。

## 一般的な安全に関するガイドライン

- プリンタを電源に接続する前に、設置についての指示を参照してください。
- プリンタ内部には、オペレータが操作可能な部品はありません。保守作業は、資格を有するサービス担当者に依頼してください。
- 次のいずれかの場合、建物の PDU (Power Distribution Unit: 電力分配装置) にある両方の分岐ブレーカーを使用してプリンタの電源を切り、サービス担当者に連絡してください。
  - 電源コードが損傷した。
  - プリンタに液体が入った。
  - プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする。
  - プリンタが落下したか、乾燥モジュールまたは硬化モジュールが損傷した。
  - プリンタ内蔵の残留電流ブレーカー (漏電遮断器) が繰り返し落ちる。
  - ヒューズが飛ぶ。
  - プリンタが正常に動作しない。
- 次のいずれかの場合には、両方の分岐ブレーカーを使用してプリンタの電源を切ってください。
  - 雷雨時
  - 停電時


## 感電による危険

**△ 警告！** 内部回路、および乾燥モジュールと硬化モジュールは、死亡または重大な人身事故につながる可能性のある危険電圧で動作します。

プリンタの保守作業の前に、建物の PDU (Power Distribution Unit: 電力分配装置) にある両方の分岐ブレーカーを使用してプリンタの電源を切ってください。プリンタは、接地されたメイン コンセントのみに接続する必要があります。

感電の恐れを防止するため、次の点を守ってください。

- 乾燥モジュールおよび硬化モジュールや、電気制御キャビネットを解体しないでください。
- 閉じられたシステムのカバーや差し込み口を取り外したり開いたりしないでください。
- 異物をプリンタのスロットに差し込まないでください。

 **注記：** ヒューズが飛ぶ場合は、システム内の電気回路が故障している可能性があります。サービス担当者に連絡してください。自身でヒューズの交換を試みないでください。

## 熱による危険

プリンタの乾燥および硬化用サブシステムは高温で稼働しているため、触ると火傷をする可能性があります。人身事故を防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- プリンタの乾燥モジュールおよび硬化モジュールの内部筐体に触れないでください。
- 素材の経路に触れる場合は、特に注意してください。

## 発火の危険

プリンタの乾燥および硬化用サブシステムは高温で稼働しています。プリンタ内蔵の残留電流ブレーカー（漏電遮断器）が繰り返し落ちる場合は、サービス担当者に連絡してください。

発火の恐れを防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- 異物をプリンタのスロットに差し込まないでください。
- 液体がプリンタにこぼれないように注意してください。
- 可燃性ガスを含むエアゾール製品を、プリンタの内部または周囲で使用しないでください。
- プリンタの開口部を遮断したり、覆わないでください。
- 乾燥モジュールまたは硬化モジュールや、電気制御キャビネットを解体しないでください。
- 最大 125°C(257°F)の動作温度で使用でき、自己発火点が 250°C(482°F)より高い素材を取り付けてください。

## 機械的危険

プリンタには人身事故の原因になる可能性のある可動部分があります。人身事故を防止するため、プリンタの近くで作業する場合は、以下の注意事項に従ってください。

- 衣服や身体はプリンタの可動部分から離してください。
- ネックレス、ブレスレットなど、垂れ下がる物体の着用は避けてください。
- 長髪の場合は、頭髮がプリンタ内に落下しないように留めてください。
- 袖や手袋がプリンタの可動部分に巻き込まれないように注意してください。
- ファンの近くに立たないでください。人身事故につながったり印刷品質に影響を及ぼす可能性があります（エアフローが遮断されるため）。
- 印刷時にギアや移動ロールに触れないでください。



## 重量のある素材による危険

人身事故を避けるため、重量のある素材を扱う場合は特に注意が必要です。

- 重い素材ロールを扱う際は、必ず最低 2 名で行ってください。背中に負担をかけたり痛めたりしないように注意してください。
- 素材を持ち上げる場合は、必ずフォークリフトやパレットトラックなどの荷役機器を使用してください。
- 必ず、長靴や手袋などの保護用具を着用してください。

## インクの取り扱い

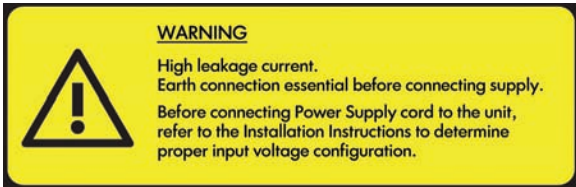
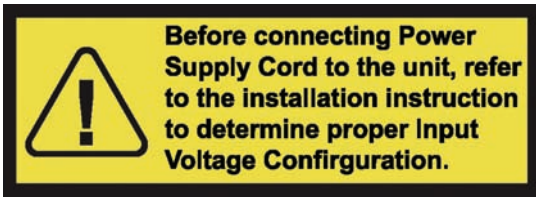
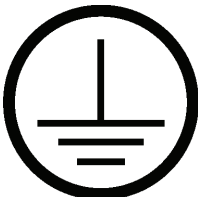
このプリンタには溶剤インクが使用されていないため、溶剤インクに関連する従来の問題は発生しません。インクシステムコンポーネントを扱う場合は、手袋の着用をお勧めします。

## 警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用して破損を防ぐために、次の記号が使用されています。これらの記号の付いた手順に従ってください。

- △ **警告！** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。
- △ **注意：** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、人身事故または製品の破損につながる恐れがあります。

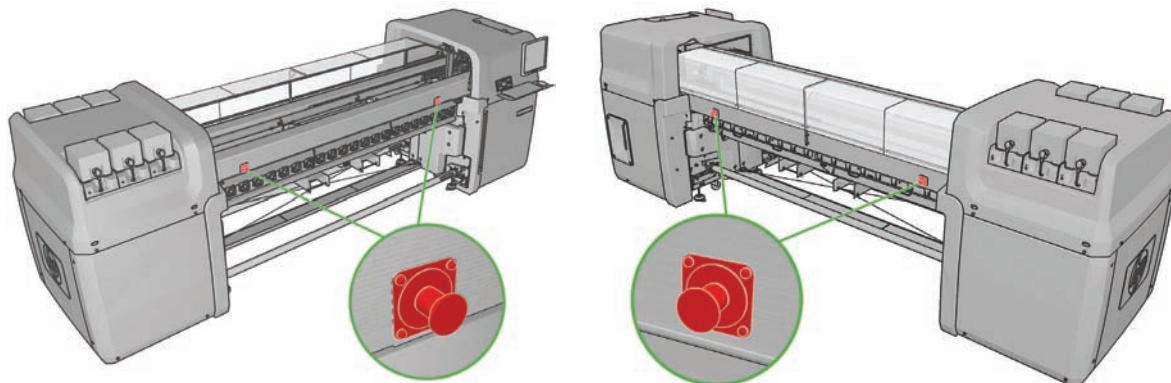
## 警告ラベル

ラベル	説明
	漏電電流が 3.5mA を超えている可能性があります。
	プリンタを別の電圧の電源に接続できる可能性があります。
	保護アース (PE: Protective Earth) 端子を確認します。この端子は、電気制御キャビネット内にあります。

ラベル	説明
	<p>感電による危険。プリンタには2基の主電源があります。プリンタ内部には、オペレータが操作可能な部品はありません。ヒューズ交換の場合、電圧が印加したプリンタの部品で保守作業中に危険が生じる場合があります。保守作業は、資格を有するサービス担当者に依頼してください。保守作業の前に、建物の PDU (Power Distribution Unit: 電力分配装置) にある両方の分岐ブレーカーを使用してプリンタの電源を切ってください。電源に接続する前に、設置についての指示を参照してください。</p>
	<p>感電する危険があります。ヒューズ交換の場合、電圧が印加したプリンタの部品で保守作業中に危険が生じる場合があります。プリンタは保守作業前に完全に電源を切ってください。</p>
	<p>火傷の恐れ。プリンタの乾燥モジュールおよび硬化モジュールの内部筐体に触れないでください。</p>
	<p>インクカートリッジ、プリントヘッド クリーニング カートリッジ、プリントヘッド クリーニング コンテナを扱う場合は、手袋の着用をお勧めします。</p>
	<p>素材を取り付けると、キャリッジが通常の位置より下がるため、キャリッジの下に手や物を入れると損傷する可能性があります。</p>
	<p>歯車の間に手が巻き込まれる危険性があります。</p>
	<p>プリンタの印刷中、プリントヘッド キャリッジは素材全体を前後に移動します。</p>
	<p>この可動部分に注意してください。</p>

## 緊急停止ボタン

プリンタには、4 か所に緊急停止ボタンが配置されています。緊急事態が発生した場合は、いずれかの緊急停止ボタンを押すと、すべての印刷処理が停止します。フロントパネルにシステム エラー メッセージが表示され、ファンは最高速度で回転します。プリンタを再起動する前に、すべての緊急停止ボタンが解除されていることを確認してください。






## 2 プリンタ ステータス

### プリンタ ステータスを確認する

プリンタのステータスは、以下の方法で確認できます。

- HP Internal Print Server では、プリンタのステータス、取付済の素材およびインク システムが表示されます。最後のアラートが、メイン ウィンドウ下部に要約されています (7 ページの「プリンタ アラート」を参照)。



- フロントパネルでは、デフォルトでインク容量が表示されます。それ以外の場合は、インク システムのアイコン  を選択してインク容量を表示できます。さらに、発生している場合は現在の最重要アラートがフロントパネルに表示されます。

### プリンタ アラート

ご使用のプリンタは 2 種類のアラートを発信します。

- エラープリンタが印刷できないとき。
- 警告キャリブレーションなどの調整、または予防保守やインクカートリッジの交換が必要など、要注意の状態であるとき。

プリンタのアラートは、HP Internal Print Server に最初に表示されますが、同時に 1 つのアラートはフロントパネルにも表示されます。

- **HP Internal Print Server:**アラートの要約リストが、メイン ウィンドウ左下に表示されます。さらに詳細なリストをすべて表示するには、**[情報]** - **[アラート]** の順に選択します。
- **フロントパネルの表示:** フロントパネルには、最重要と判断されたアラートが同時に 1 つだけ表示されます。通常は、ユーザが確認して **OK** キーを押す必要がありますが、警告の場合は、しばらくすると表示されなくなります。一部のアラートは、プリンタがアイドル状態で、他に報告すべき重要な問題がない場合、再び表示されます。

次のアラートが発生した場合、サービス エンジニアによる作業が必要です。

- 予防保守 #1 が必要
- 予防保守 #2 が必要
- 予防保守 #3 が必要
- 予防保守 #4 が必要



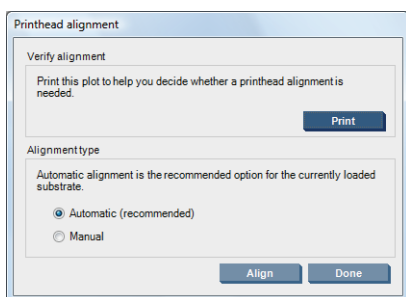
# 3 キャリブレーション

## プリントヘッドの軸合わせ

プリントヘッド間の正確な軸合わせは、高いカラー精度、滑らかなカラーグラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。

**注記：** 単一ロールへの巻き取り設定を使用する場合にのみ、プリントヘッドの軸合わせを行うことをお勧めします。特に、デュアルロールでプリントヘッドの軸合わせを行うことは推奨しません。

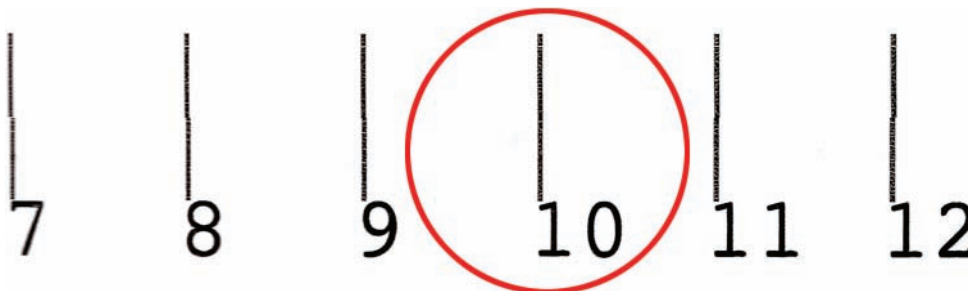
プリントヘッドの軸合わせを行うには、HP Internal Print Server に移動して、[プリンタ] - [プリントヘッドの軸合わせ] を選択します。自動軸合わせと手動軸合わせを選択できます。HP Internal Print Server では、そのいずれかを選択することをお勧めしますが、いつでも選択は可能です。



- 自動軸合わせは完全に自動化された手順で、多くの場合、最適な印刷品質を実現します。プリンタは数種類のパターンを印刷し、その結果をビルトインのラインセンサーでスキャンします。これは、滑らかな高品質素材（ビニール、バナーまたはバックライトを含む）にお勧めの方法です。プリントヘッドのノズルの多くに不具合がある場合、自動軸合わせを実行しても良い結果が得られないことがあります。

この処理には 14 分ほどかかり、素材を 23cm ((9 インチ)) ほど使用します。

- 手動軸合わせでは、細かい織りの素材や白以外の素材（メッシュ、穴あき、一部の布、透明、色付き）が取り付けられたときなど自動軸合わせを使用できない場合に相応の印刷品質を得られます。プリンタは 8 種類のパターンを印刷するので、それぞれの中から最良の結果を選択する必要があります（たとえば、下図の 10 番）。



この処理には 15 分ほどかかり、素材を 23cm ((9 インチ)) ほど使用します。



## プリントヘッドの軸合わせのトラブルシューティング

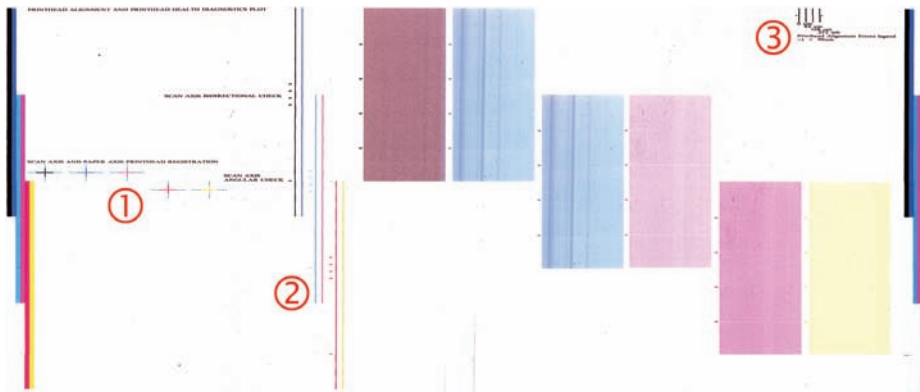
自動軸合わせは、場合によって失敗することがあります。フロントパネルに「スキャン エラーのため、プリントヘッドの自動軸合わせがキャンセルされます」という内容のエラーメッセージが表示されることがあります。その他の場合ではエラーメッセージは表示されませんが、印刷品質は満足のものではありません。次のような原因が考えられます。

- 素材送りに問題がある場合 (10 ページの「[素材送りの補正](#)」を参照)。素材送りの問題を修正した後、プリントヘッドの自動軸合わせを再試行します。
- 細かい織りの素材 (一部のバナー)、白以外または反射の強い (サテンのようなオフセット) 素材を使用している場合。これらの場合は、プリントヘッドの手動軸合わせを使用してください。
- 素材にしわが寄っている場合。素材が均一のテンションで正しく取り付けられていることを確認します。テンションを上げるには、誘導ローラーを使用してみてください。必要な場合は、テンションや乾燥および硬化温度などの素材パラメータを調整してみてください。
- 素材に十分な幅がない場合。少なくとも 610mm ((24)インチ) の幅の素材ロールを使用して、軸合わせのプロセスを繰り返します。
- プrintヘッドの軸合わせの処理中にプリンタのウィンドウが開いた場合。
- プrintヘッドが汚れている場合。28 ページの「[プリントヘッドのクリーニング](#)」を参照してください。

問題が解決されない場合は、プリントヘッドの手動軸合わせを使用するか、サービス担当までご連絡ください (74 ページの「[HP カスタマー・ケア・センター](#)」を参照)。

## プリントヘッドの軸合わせの診断プロット

プリンタでは、プリントヘッドの軸合わせの診断プロットが提供されます。これは、現在のプリントヘッドの軸合わせの品質を分析するものです。診断プロットを印刷するには、HP Internal Print Server に移動して、[プリンタ] - [プリントヘッドの軸合わせ] - [診断プロット] の順に選択します。



1. プロットの左側にある色つきの×印は、各行の軸合わせが互いに良好であることを示します。
2. 中央左側の垂直線は、よれることなくまっすぐになっている必要があります。
3. プロットの左上にある 4 本の垂直線のうち、左側 2 本はよれることなくまっすぐになっている必要があります。

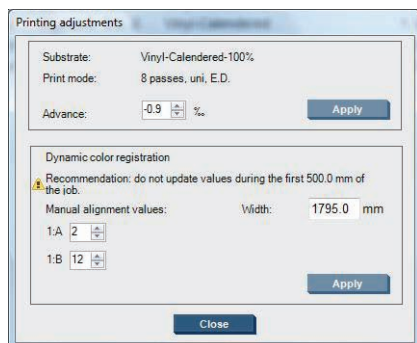
## 素材送りの補正

正確な素材送りは、素材に対して適切にドットを配置するための制御要素の 1 つであるため、優れた印刷品質を得るのに重要です。プリントヘッドが通過する間に素材が適当な距離で送られない場合、明るいまたは暗い帯が印刷上に現われ、粒状感が増える場合があります。



プリンタには素材送りセンサーがあり、フロントパネルに表示されるすべての素材が正しく送られるようにキャリブレーションされます。取り付けられている素材の種類を選択すると、印刷中に素材を送る間隔がプリンタにより調整されます。ただし、カスタム素材を使用していたり、素材のデフォルトのキャリブレーションに満足できない場合、素材送りの補正を変更します。素材送りの補正によって問題が解決できるかどうかを決定する手順については、[53 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)を参照してください。

印刷中、HP Internal Print Server から、現在取り付けられている素材の素材送りの補正をいつでも表示および変更できます。表示および変更するには、印刷ジョブの次に **[印刷の調整]** ボタンを選択するか、**[プリンタ] - [印刷の調整]** を選択します。



[素材送り] フィールドの数値を変更した後で印刷品質を優先する場合は、**[適用]** ボタンを押せば、その特定の素材タイプに対してその後は常に優先素材送り補正が使用されるようになります。

素材送りセンサーは、汚れていると正常に作動しないことがあります。[28 ページの「素材送りセンサーのクリーニング」](#)を参照してください。

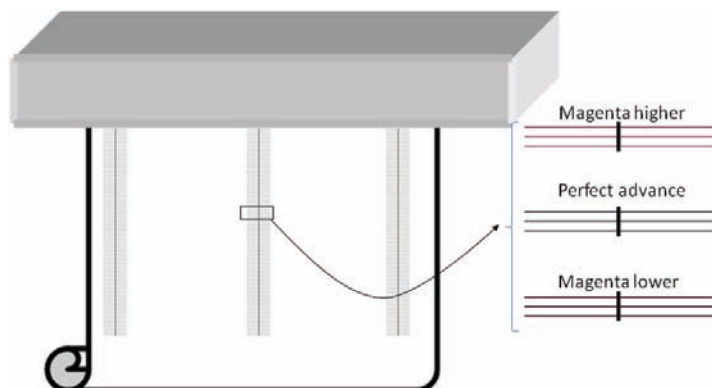
**注記：** 一部の素材は素材送りセンサーで検知されません。そのような場合、センサーは動作せずにオフになります。HP Internal Print Server の [取付済の素材] ウィンドウにある自動トラッキング (OMAS) フィールドを使用すれば、センサーをオフにできます。必要に応じてアラートでアドバイスが表示されます。

**注記：** 素材送りセンサーは、素材の裏面をスキャンします。素材の裏面は単一色および単一の影になっていると想定されます。裏面に印刷されている場合、センサーが正常に動作する保証はありません。その場合、プリンタからはアラートは発信されませんが、センサーがオフになります。

## 素材送りテスト印刷

素材送りテスト印刷は、素材送りをより正確に調整するのに役立ちます。

HP Internal Print Server で、**[プリンタ] - [拡張精度キャリブレーション]** を選択し、使用する印刷モードを選択します。素材に 3 列の細かい線が印刷され、素材送りが正しい場合はすべて黒になります。



これらの線の少し上または下にマゼンタが見える場合、素材送りを次のように変更します。

- 黒い線の上にマゼンタが見える場合、素材送り設定を増やします。
- 黒い線の下にマゼンタが見える場合、素材送り設定を減らします。
- ある列では上にマゼンタがあり、別の列では下にマゼンタがある場合、素材がゆがんでいる可能性があります。プリンタの前面と背面で、素材の端とプリンタのサイドプレートとの間の距離を確認します。距離は同じである必要があります。

## カラー キャリブレーション

カラー キャリブレーションを行うことによって、プリンタの特定の素材タイプに合わせて、プリントヘッド、インクカートリッジ、特定の環境条件が変化しても、色調を統一することができます。カラー キャリブレーションを行うと、異なる場所にある2つのLXシリーズ プリンタから同じカラーの印刷物を出力できます。

カラー キャリブレーション テスト チャートは、素材に使用されるインクの濃度に応じて、次の印刷モードを使用して印刷されます。


- 250%のインクの濃度にはパス 14 回
- 150%のインクの濃度にはパス 8 回
- 100%のインクの濃度にはパス 6 回

このため、カラー キャリブレーションの開始前に適切な印刷モードを微調整することを強くお勧めします。特定の印刷モードの素材プリセットを微調整するには、『ユーザーズ ガイド』を参照してください。

通常の印刷での推奨印刷モードは次のとおりです。

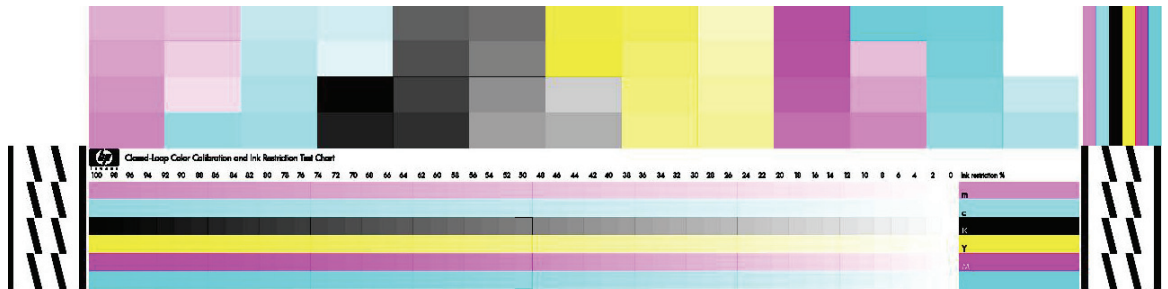
最大インク濃度	印刷品質	パス
250%	高品質+	18
	高品質	14
	標準画質+	10
150%	高品質+	10
	高品質	8
	標準画質+	6
100%	高品質+	8
	高品質	6
	標準画質+	5
	標準画質	4
80%	ビルボード+	3
	ビルボード	2
50%	ドラフト	1

HP Internal Print Server からカラー キャリブレーションを開始するには、[素材] - [カラー キャリブレーション] の順に選択し、次に [キャリブレーション] をクリックします。

 **注記：** カラー キャリブレーションは、キャリッジ ビームが通常より高い位置の場合、またはインク コレクター キットが取り付けられている場合には、推奨されません。

キャリブレーション処理は完全に自動化されています。キャリブレーションを行う素材を取り付けた後、無人で実行されます。この処理には 18 分ほどかかり、以下の手順で実行されます。

1. クローズドループ カラー キャリブレーションとインク制限テスト チャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチの目盛りが印刷されています。



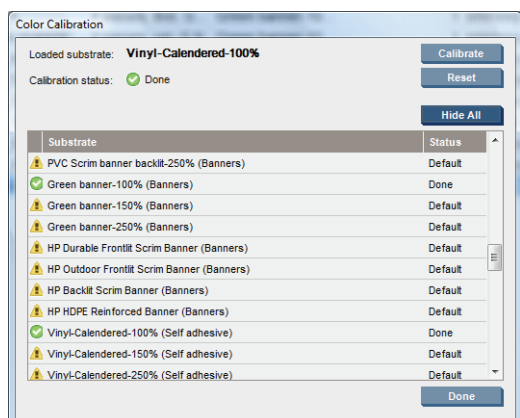
2. テスト チャートがスキャンされ、HP 内蔵分光測光器でカラー計測されます。スキャンが正常に完了しない場合、フロントパネルにメッセージが表示されます ([67 ページの「カラー キャリブレーションに失敗する」](#)を参照)。
3. 分光測光器による計測結果を基に、必要な修正テーブルが算出され、その素材の種類で再現性のあるカラー印刷を行うために適用されます。

キャリブレーションは、以下の状況の場合に実行してください。

- プリントヘッドを交換した場合
- 現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない新しい素材の種類を使用する場合
- 印刷間で大幅に色が異なることに気付いた場合。このような色の違いは、プリントヘッドの劣化や摩耗、あるロールと別のロールとの間で素材の特性が変化した、環境的な条件が変化した、などが原因となっていることがあります。

アラートを無効に設定しない限り、プリントヘッドを交換した場合はアラートが表示され、カラーキャリブレーションの実行を知らせてくれます。プリントヘッドの軸合わせおよび素材送りのキャリブレーションも必要な場合、カラー キャリブレーションは常に最後の操作となります。

その素材のカラー キャリブレーション ステータスは、HP Internal Print Server またはフロントパネルでいつでも確認できます。HP Internal Print Server で [素材] - [カラー キャリブレーション] - [すべてを表示] の順に選択します。



- **[デフォルト]** ステータスは、素材に今までキャリブレーションを実行していないことを示します。この場合、工場出荷時のデフォルト カラー テーブルが印刷ジョブに適用されます。
- **[完了]** ステータスは、この素材にカラー キャリブレーションが正常に実行されたことを示します。
- **[失効]** ステータスは、最後に素材がキャリブレーションされた後でプリントヘッドが変更されたこと、さらにその素材は再キャリブレーションが必要であることを示します。

カラー キャリブレーションは、印刷されたカラー パッチのカラー測定に基づき、HP 内蔵分光測光器で行われます。粗い表面または透明など一部の素材特性により、いくつかの種類の素材の反射カラー測定が非常に不正確になることがあります。こういった素材のカラー キャリブレーションは失効するか、許容範囲を超えた印刷結果になります。

特定の素材タイプがカラー キャリブレーションに対して適しているかどうかは、『ユーザーズ ガイド』にあるサポート対象素材タイプの表でわかります。幅が 914mm ((36 インチ)) を超える素材にのみキャリブレーションを実行できます。

工場出荷時のデフォルトのキャリブレーションを復元することで、正しくないカラー キャリブレーションを復元できます。HP Internal Print Server で **[素材]** - **[カラー キャリブレーション]** - **[リセット]** の順に選択します。

カラー プロファイルを作成せずに後でカラー キャリブレーションを行うこともできますが、カラー プロファイルを作成する前に、素材の種類に対応するキャリブレーションを行ってください。

## インク制限

インク制限により、指定素材に載せることができる各プライマリ インク (シアン、マゼンタ、イエロー、黒、ライト シアン、ライト マゼンタ) の最大量を設定できます。

インク制限の比率を調整するには、HP Internal Print Server で、**[素材]** - **[編集]** - **[カラー]** の順に選択します。

インク制限の比率は、すべてのインクに対して該当するボックスに 50% ~ 100% を入力して設定できます。通常、約 80% の数値をお勧めします。

比率が高い設定 (ほぼ 100%) ではより多くのインクを使用するので、カラー色域が増え、カラー キャリブレーション システムの操作での余裕が少なくなって、色調の統一性が低下することがあります。

比率が低いと使用するインクは少なく、カラー色域が少なくなり、最良の色調の統一性のための補正範囲が広がります。

**注記:** 正しく定義されていないインク制限では、予期せぬ結果につながる可能性があります。**[素材]** - **[編集]** - **[カラー]** - **[リセット]** の順に選択すれば、デフォルトのインク制限設定を復元することができます。

クローズドループ カラー キャリブレーションとインク制限テスト チャートでは、2% 刻みのインク傾斜が印刷され、インク制限比率を選択する上で視覚的なガイドとして役に立ちます。

クローズドループ カラー キャリブレーションおよびインク制限テスト チャートを印刷するには、[素材] - [編集] - [カラー] - [プロットの印刷] の順に選択します。

## カラー プロファイル

カラーキャリブレーションによって色調を統一することができますが、統一されているからといってカラー精度が高いとは限りません。たとえば、お使いのプリンタがどの色も黒で印刷してしまう場合、色調は統一されていても正確な色ではありません。

正確な色で印刷するためには、ファイル内でカラー値を変換し、使用するプリンタ、インクおよび素材で適切な色が印刷できるように調整する必要があります。ICC カラー プロファイルには、これらのカラー変換に必要なプリンタ、インク、および素材の組み合わせについてのすべての情報が記述されています。

これらの色の変換は、プリンタではなく Raster Image Processor (RIP) で行われます。ICC プロファイルの使用についての詳細は、アプリケーション ソフトウェアおよび RIP のマニュアルを参照してください。

## 動的カラー登録

使用する素材が、印刷プロセスで加えられる熱によって膨張するか縮む場合、印刷物にカラー誤登録がある可能性があります。この問題は動的カラー登録を使用して、次のように削減できます。

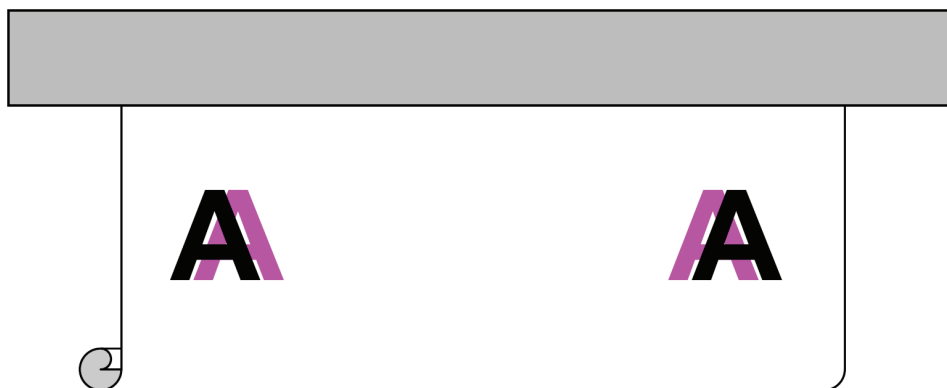
1. HP Internal Print Server からテスト パターンを印刷します。
2. HP Internal Print Server でエラーを修正する設定を選択します。

以下の場合に、動的カラー登録を実行してみてください。

- 印刷物にカラー誤登録がある場合
- 初めて使用する種類の素材の場合
- プリントヘッドの交換およびプリントヘッドの軸合わせを行った後

## 問題：カラー誤登録

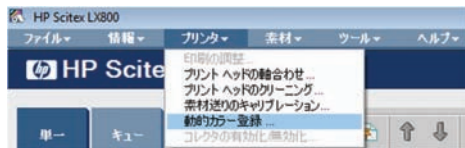
カラー誤登録とは、カラーの位置がキャリッジの方向に、素材の中央に向かって水平にずれることを意味します。誤登録は、ロールの両側で異なり、プリントヘッドの軸合わせで修正することはできません。ここで示す例はマゼンタと黒です。それは、これらの色が最も目立つためですが、誤登録はその他の色のペアでも発生する可能性があります：マゼンタ/シアン、イエロー/黒、イエロー/シアン



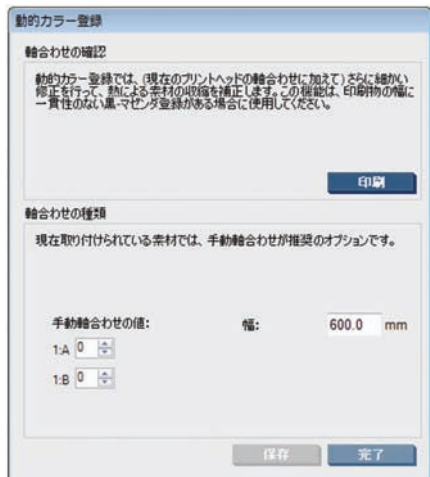
この問題はすべての素材で発生するわけではありません。ロールの幅全体で同じ誤登録を確認したら、代わりにプリントヘッドの軸合わせを使用します。

## 解決法：動的カラー登録

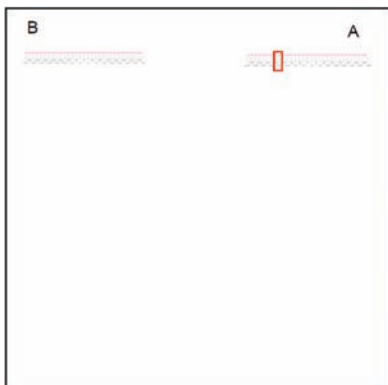
1. HP Internal Print Server で、[プリンタ] メニューを選択してから、[動的カラー登録] を選択します。




2. [印刷] ボタンを押します。



3. 動的カラー登録テスト パターンが印刷されます。これは、素材の左側および右側に印刷される2つの別個のパターン 'A' と 'B' で構成されます。



 **注記：** テスト パターンが印刷される前に、約 0.5m (20 インチ) 素材が送られます。

4. パターンごとに、2つのカラーの行が互いにぴったり合っている数値を確認します。




5. 両方の数値 (A および B) を、[手動軸合わせの値] の下の HP Internal Print Server でまだ表示されている [動的カラー登録] ウィンドウに入力します。
6. キャリブレーションを適用するには、[保存] を選択し、ウィンドウを閉じるには、[完了] を選択します。キャリブレーションが、印刷される次のジョブに使用されます。



動的カラー登録は素材プリセットには保存されません。またそのためプリンタは、実行した最後の動的カラー登録のみ記憶します。次のいずれかの場合は、再度動的カラー登録を行う必要があります。

- 印刷する素材の種類を変更する場合。
- プリントヘッドの軸合わせを行う場合。
- 乾燥温度を変更する場合。

 **注記：** 素材の膨張または縮小は、印刷開始直後には発生しません。印刷素材の最初の 0.5m ((20 インチ)) で起こる可能性は低いです。動的カラー登録を行うと、素材によっては各ジョブの最初の 0.5m ((20 インチ)) で過剰補正が行われる場合があります。

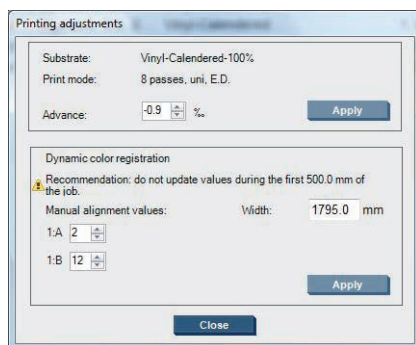
## テスト パターンなしの動的カラー登録

必要に応じて、テスト パターンを印刷せずに A 値および B 値を入力します。この操作を行う場合、以下の 2 通りのシナリオが考えられます。

- 過去に同じ素材のテスト パターンを印刷したことがあり、正しい A 値と B 値をすでに知っている場合。素材の幅は関係ありません。同じ種類の素材であれば、どの幅でも同じ値を使用できます。
- 何度か試してみて、正しい A 値および B 値を見つける場合。この場合、A 値は素材の右側の印刷に影響を及ぼし、B 値は左側の印刷に影響を及ぼします。値を増やすとマゼンタが左側に移動し、値を減らすとマゼンタが右側に移動します。

## 印刷中の動的カラー登録

印刷中に、動的カラー登録を調整できます。HP Internal Print Server で、[プリンタ] - [印刷の調整] の順に選択します。



A 値および/または B 値を変更して、[適用] をクリックします。A 値は素材の右側の印刷に影響を及ぼし、B 値は左側の印刷に影響を及ぼします。値を増やすとマゼンタが左側に移動し、値を減らすとマゼンタが右側に移動します。

新しいキャリブレーションは、素材が一定の長さ印刷された後で表示されます。長さは印刷モードによって異なります。次に例を示します。

- 2 パス印刷モードでは、素材が約 1m ((40 インチ)) 印刷されてから、キャリブレーションが起こります。
- 4 パス印刷モードでは、素材が約 0.5m ((20 インチ)) 印刷されてから、キャリブレーションが起こります。
- 8 パス印刷モードでは、素材が約 0.25m ((10 インチ)) 印刷されてから、キャリブレーションが起こります。





## 4 ハードウェア保守

### インクカートリッジを保守する

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別な保守は必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。カートリッジが使用期限に達すると、アラートが表示されます。

カートリッジの使用期限はいつでも確認できます。[\(7 ページの「プリンタ ステータスを確認する」を参照\)](#)。

### プリントヘッドを保守する

最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したプリントヘッドは交換してください。プリントヘッドが使用期限に達すると、アラートが表示されます。

プリントヘッドの使用期限はいつでも確認できます [\(7 ページの「プリンタ ステータスを確認する」を参照\)](#)。

プリントヘッドを時々クリーニングし、軸合わせする必要があります。[28 ページの「プリントヘッドのクリーニング」](#)および[9 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」](#)を参照してください。

プリントヘッドのノズルが詰まっているかどうかを確認するには、[20 ページの「プリントヘッドの確認」](#)を参照します。

※ **ヒント：** 使用期限が切れたプリントヘッドをプリンタから取り外して、後で再使用する予定の場合、プリンタに取り付ける前に取り外した保護キャップを交換すると最良の状態プリントヘッドを保護できます。

### 素材を保守する

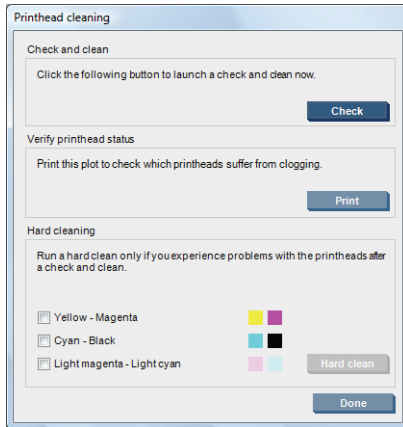
保管中は素材を密封状態で維持し、一部の材料で可塑剤が移動しないようにロールを垂直に保管します。

保管場所から素材をプリンタの運用場所に移動する場合は、湿度や温度に適応するように使用の 24 時間前までに移動します。

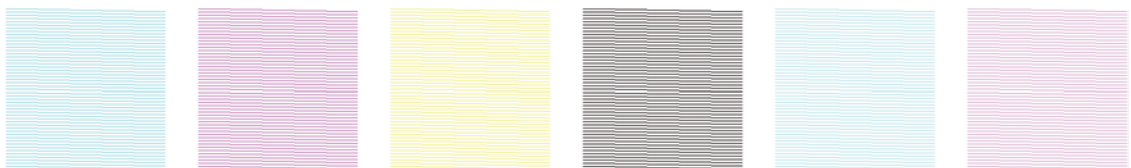
# プリントヘッドの確認

1 つ以上のプリントヘッドが正常に動作していないと考えられる場合：

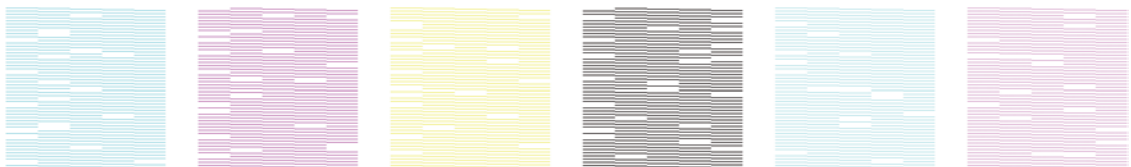
1. HP Internal Print Server に移動して、[プリンタ] - [プリントヘッドのクリーニング] を選択します。



2. [確認] ボタンを押して、定期的なクリーニングを実行します。
3. 問題が解決しない場合は、同じウィンドウの [印刷] ボタンを押して、次の表示を印刷します。それぞれのカラーが単一のプリントヘッドで印刷され、各プリントヘッドのパフォーマンスが表示されます。



多くのプリントヘッド ノズルが詰まっている場合は、次に示すとおり、この表示で線が欠けています。




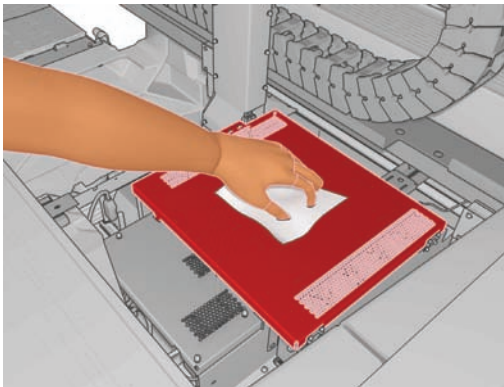
4. 同じウィンドウで、線が欠けているすべてのプリントヘッドを選択し、[ハード クリーニング] ボタンを押します。
5. ハード クリーニングが完了したら、再び [印刷] ボタンを押してプリントヘッドが改善されたかどうかを確認します。
6. プリントヘッドの電気接触面が汚れていないことを確認します。[61 ページの「プリントヘッドを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される」](#)を参照してください。
7. 1 つのカラーで 5 本以上の線がまだ欠けている場合は、そのプリントヘッドを交換することを推奨します。欠けている線が少ない場合は、4 つ以上のパスで印刷するときは、高品質を維持できます。

前の印刷物が鮮明ではない、また粒状感が見られる場合は、素材送りの補正を変更する必要があります ([10 ページの「素材送りの補正」](#)を参照)。


## キャリッジ カバーのクリーニング

プリントヘッドのキャリッジ カバーは、プリントヘッドの過熱を避けるために乾燥用ランプの放射を反射するように設計されています。カバーが汚れてきた場合は、熱を反射しなくなります。プリントヘッドが損傷しないようにするため、キャリッジ カバーは、プリンタの使用頻度に応じて、2 か月に 1 回程度クリーニングする必要があります。カバーのクリーニングが必要になるとアラートが表示されます。

1. フロントパネルに移動し、[キャリッジ カバーのクリーニング] を [予防保守] メニュー  から選択します。キャリッジが電子コンポーネントの中に移動します。
2. プリントヘッド アクセス ドアを開きます。
3. フロントパネルの OK キーを押します。
4. キャリッジ カバーを糸くずの出ない布でクリーニングします。




5. インクが乾燥していて、乾いた布で取り除くことができない場合、布をイソプロピル アルコールで湿らせてみてください。クリーニング後、カバーが乾燥するまで待ちます。

 **注記：** カリフォルニア州では、イソプロピル アルコールの代わりに、正しく希釈した「Simple Green ® All-Purpose Cleaner」などの VOC 認定クリーナーを使用してください。


6. ドアを閉じて、フロントパネルの OK キーを押します。

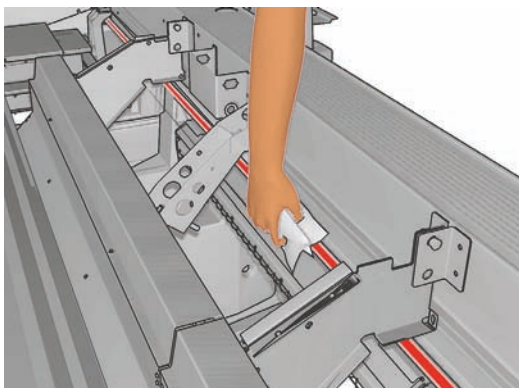
## キャリッジ レールのクリーニング

キャリッジが沿って移動するためのレールは、プリンタの使用状況に応じて 2 年に 1 回程度クリーニングする必要があります。クリーニングが必要になると、アラートが表示されます。

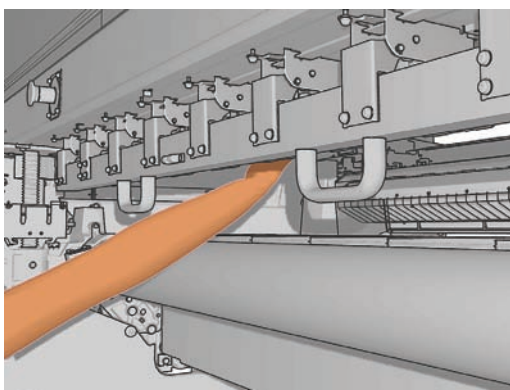
1. フロントパネルに移動し、[キャリッジ レールのクリーニング] を [予防保守] メニュー  から選択します。OK を押して続行します。
2. 素材を取り付けるとき、キャリッジ ビームが自動的に上がります。
3. キャリッジ ビームの上昇が停止したときに、プリンタをオフにします。
4. 手袋をはめていない場合は、はめてください。

5. プリンタの正面に立ち、イソプロピル アルコールで湿らせた糸くずの出ない布を使用してフロントのレールをクリーニングします。上からレールをクリーニングします。

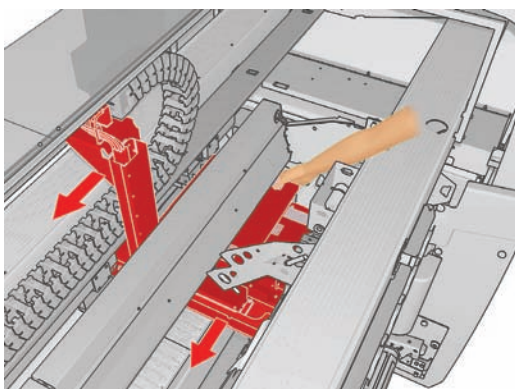
 **注記：** カリフォルニア州では、イソプロピル アルコールの代わりに、正しく希釈した「Simple Green ® All-Purpose Cleaner」などの VOC 認定クリーナーを使用してください。



6. プリンタの背面に立ち、同様にリアのレールをクリーニングします。プラテンとピンチの間を通して、下からレールをクリーニングします。

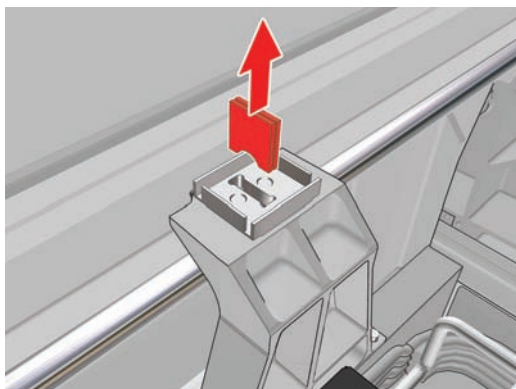


7. レールが乾燥するまで待ちます。
8. キャリッジを手動で電子コンポーネント内に移動します。

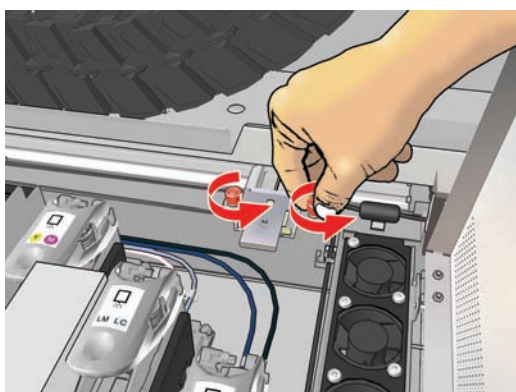


9. キャリッジ油性フォームを交換します (32 ページの「[キャリッジ油性フォームの交換](#)」を参照)。

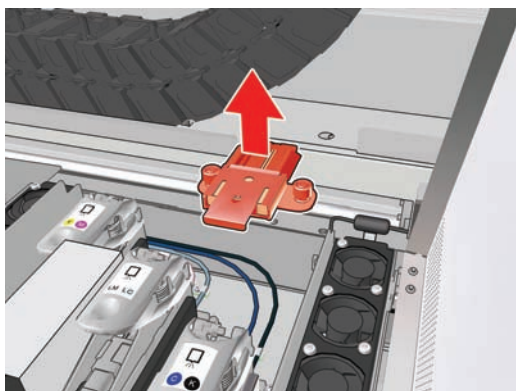
10. 油性フォームの下にあるオレンジ色のオイル芯を交換します。油性フォームを取り外したら、前面の2つのオイル芯が外しやすくなります。



11. 背面のオイル芯を交換するには、まず2本のネジをゆるめます。

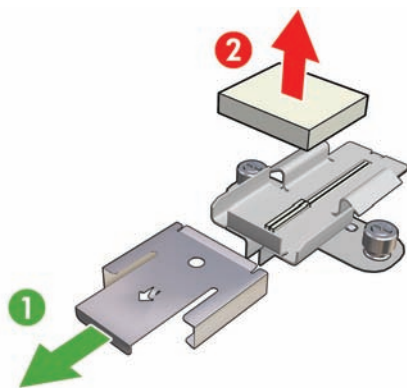


12. 背面の油性アセンブリを取り外します。

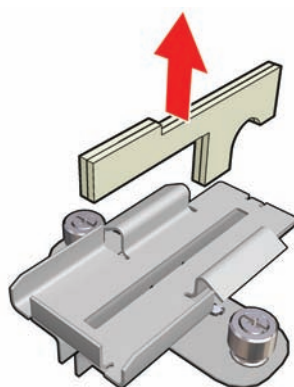





13. カバーをスライドして、油性フォームを取り外します。



14. 2つのオイル芯を取り外します。



15. 新しいオイル芯を挿入し、フォームおよびカバーを交換して、油性アセンブリをプリンタに再度取り付けます。
16. 糸くずのでない布にクリーニング キットで提供されているオイルを浸し、2つのキャリッジ レールに注油します。
17. プリンタを再びオンにします。
18. フロントパネルの [素材]  メニューで [キャリッジ ビーム位置] - [印刷位置 (標準) に移動] を選択し、キャリッジ ビームを通常の位置に下げて、素材に近づけます。このプロセスを完了するには、約2分かかります。

## 硬化プレートのクリーニング (LX800 のみ)

硬化プレートは、汚れまたは凝固があれば常にクリーニングする必要があります。クリーニングの前に、硬化プレートを低くするか、またはキャリッジ ビームを最も高い位置まで上げます。水を浸したきれいな布でクリーニングします。

## 誘導ローラーのクリーニング (LX800 のみ)

浸透性の素材で使用するための誘導ローラーは、インク コレクター キットに含まれています。プリントが適切に硬化されていない場合、汚れる可能性があります。

水を浸したきれいな布で誘導ローラーをクリーニングします。また、印刷前にはローラーが乾燥していることを確認します。


## プリンタの外部をクリーニングする

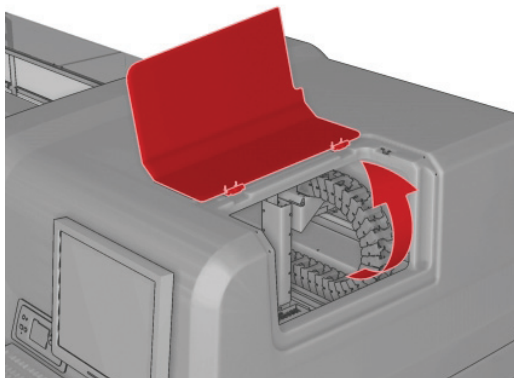
プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分のクリーニングには、湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹼など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用します。

- △ **警告!** 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。
- △ **注意:** プリンタに研磨剤入り洗剤を使用しないでください。


## インク デポジットのクリーニング

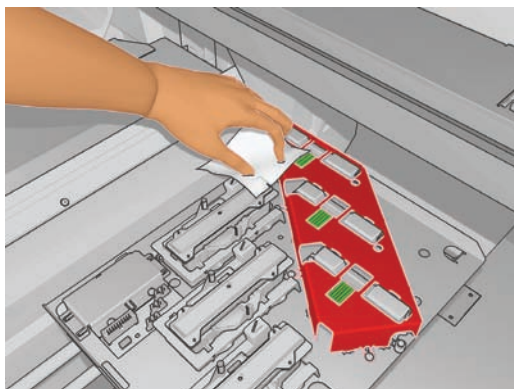
3 つのインク デポジット (各プリントヘッド用) があります。プリンタの使用状況に応じて、3、4 か月ごとにクリーニングする必要があります。インク デポジットの使用率が 85% であるときにアラートが表示され、使用率が 100% になり、クリーニングが必要になったときに再び表示されます。

1. フロントパネルに移動し、[インク デポジットのクリーニング] を [予防保守] メニュー  から選択します。
2. プrintヘッドのキャリッジの移動が停止するまで待機し、プリンタの横にあるプリンタヘッドのアクセス ドアを開きます。



3. 蒸留水に浸した綿棒や布で各インク デポジットの内部をクリーニングします。乾燥したインクをこの方法で取り除くことができない場合、蒸留水の代わりにイソプロピル アルコールを使用してみてください。


 **注記:** カリフォルニア州では、イソプロピル アルコールの代わりに、正しく希釈した「Simple Green ® All-Purpose Cleaner」などの VOC 認定クリーナーを使用してください。

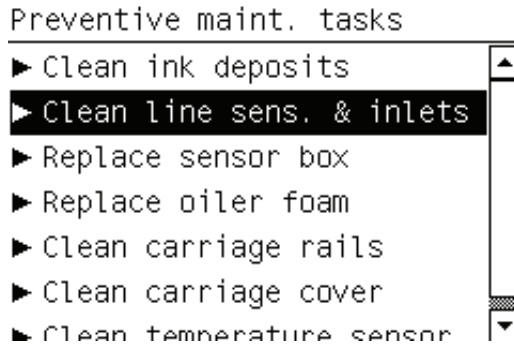


4. インク デポジットの周りの領域もクリーニングしますが、プリントヘッドの領域はクリーニングしないでください。
5. プrintヘッド アクセス ドアを閉じます。


## ライン センサーとエアゾール吸入口のクリーニング

通常使用の過程で、ライン センサーは乾燥したインクの軽いデポジットにより徐々に感知できなくなります。ライン センサーのクリーニングが必要になると (プリンタの使用状況に応じて、約 2 か月ごと) アラートが表示されます。アラートが表示されたら、次の手順でセンサーをクリーニングします。

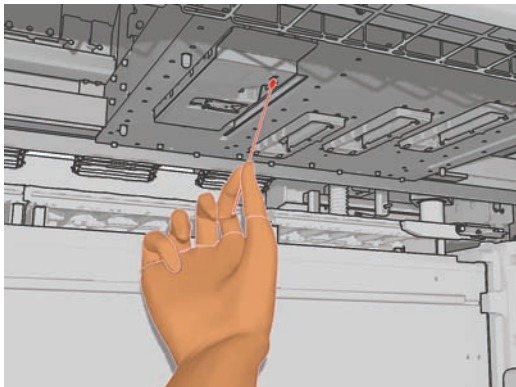
1. フロントパネルに移動し、[予防保守] メニュー  から [Clean line sens. & inlets ] (ライン センサーと吸入口のクリーニング) を 選択します。



2. センサーにアクセスできるように、プリンタによりキャリッジ ビームが上がります。
3. センサーがクリーニング可能状態であることを示すメッセージがフロントパネルに表示されるまで待ちます。
4. 綿棒をイソプロピル アルコールに浸します。クリーニング キットに綿棒が入っています。

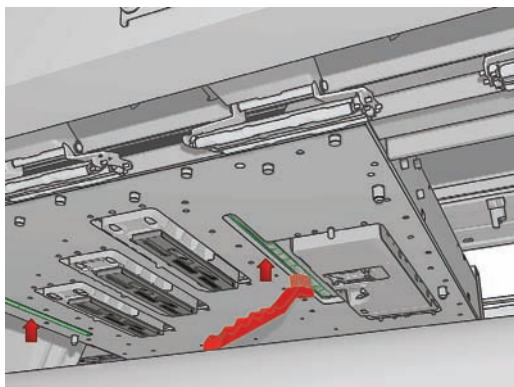
 **注記：** カリフォルニア州では、イソプロピル アルコールの代わりに、正しく希釈した「Simple Green ® All-Purpose Cleaner」などの VOC 認定クリーナーを使用してください。

5. 以下のように、ライン センサーの下から綿棒でクリーニングします。






6. ブラシを使用して、エアゾール吸入口のほこりをクリーニングします。他の部品にはブラシを使用しないでください。



7. キャリッジの下の凝縮部分を探し、必要な場合は糸くずの出ないきれいな布で取り除きます。  
△ **注意：** プリントヘッドのノズルには触れないようにしてください。破損する恐れがあります。
8. フロントパネルの OK ボタンを押します。キャリッジ ビームが正常な位置に下がります。  
△ **警告！** キャリッジの降下中は、プリンタ内に手などを入れないでください。

## メイン ローラーのクリーニング

メイン ローラーは、素材送りが円滑ではなく定常的ではないという表示が出たとき、または汚れが見えるときは常に、クリーニングする必要があります。

- 素材を取り外します。
- フロントパネルに移動し、[予防保守] メニュー  から [メイン ローラーのクリーニング] を選択します。メイン ローラーがゆっくり移動を開始します。
- 水を浸したきれいな布でローラーをクリーニングします。石油系のクリーニング溶液は使用しないでください。
- ローラーは キャンセル キーを押すまで回転し続けます。指を使って一時的に停止することもできます。
- 素材を再び取り付ける前に、ローラーが乾燥していることを確認してください。

## ピンチ ホイールのクリーニング

ピンチ ホイールが汚れている場合は、素材が送られる (1メートル未満) ことによってクリーニングできます。手動でホイールをクリーニングすると、損傷することがあり、推奨しません。

## プラテンのクリーニング

プラテンは、素材の裏面にマークがあるという表示が出たとき、または汚れが見えるときは常に、クリーニングする必要があります。

プラテンをクリーニングする前に、素材送りセンサーの場所を確認し、傷をつけないようにします (28 ページの「[素材送りセンサーのクリーニング](#)」を参照)。

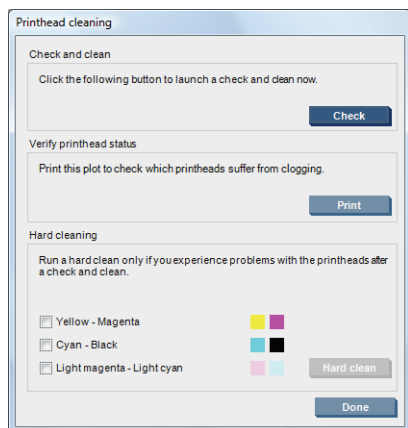
水を浸したきれいな布でプラテンをクリーニングします。印刷前にプラテンが乾燥していることを確認します。

## プリントヘッドのクリーニング

プリントヘッドはすべて、1週間に1度、定期的クリーニングする必要があります。また、印刷品質が十分ではなく、別の方法で問題を解決できない場合は、プリントヘッドをクリーニングすると良い場合があります。クリーニングによりノズル内に新しいインクが確保され、ノズルの目詰まりを防止します。

プリントヘッドのステータス プロットを印刷すると、問題のあるカラーが判断できます。適切に実行されないプリントヘッドをクリーニングします。クリーニングするプリントヘッドが不明な場合は、すべてのプリントヘッドをクリーニングします。

プリントヘッドをクリーニングするには、HP Internal Print Server に移動して、[プリンタ] - [プリントヘッドのクリーニング] を選択します。[確認とクリーニング] オプションを推奨します。



ハード クリーニングを実行する場合は、クリーニングするプリントヘッドを選択できます。

## 素材送りセンサーのクリーニング

素材送りセンサーを定期的に（プリンタの使用状況と素材の種類に応じて、1か月から3か月ごと。以下の注記を参照）クリーニングする必要があります。ただし、プラテンをクリーニングするときと、プラテンにアクシデントで直接印刷したときは常に必要です。[27 ページの「プラテンのクリーニング」](#)を参照してください。定期的なアラートは表示されませんが、センサーが使用できなくなると通知されます。

- ☞ **注記：** 浸透性の素材やライナーでは、少量のインクがプラテンやセンサー ウィンドウに移る可能性があります。結果として、1本のロール紙がなくなる前にクリーニング センサーが汚れる場合があります。このため、浸透性の素材を取り付けるときはセンサーをオフにし、別の素材を取り付ける前にプラテンとセンサーをクリーニングすることを推奨します。


このセンサーは 3 つあるピンチの 2 番目と 3 番目のグループの間（プラテンの中央）にあります。

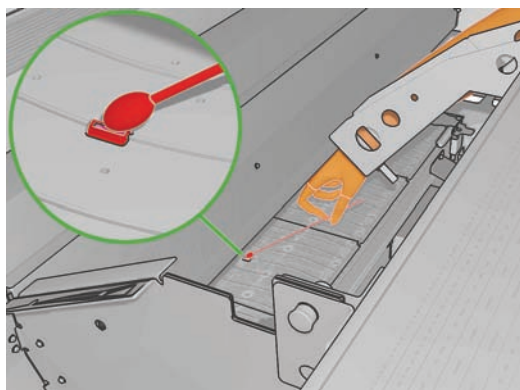
- ☞ **ヒント：** センサーをクリーニングするには踏み台があると便利です。

**ヒント：** キャリッジ ビームが低い位置にあると、上から簡単にクリーニングできます。高い位置にあるビームの下に腕を入れると、センサーにアクセスして汚れていないことを確認するのが難しくなります。

1. 素材を取り外します。

2. クリーニング キットに含まれている綿棒に、イソプロピル アルコールを少し浸し、センサーを拭いて乾燥したインクを取り除きます。センサー ウィンドウに乾燥したインクが大量に付いている場合、拭くときに少し圧力をかけて、綿にインクが吸収されやすくする必要があります。新しい綿棒を使って、綿に汚れが付かなくなり、センサー ウィンドウに汚れが見えなくなるまでクリーニングを続けます。

 **注記：** カリフォルニア州では、イソプロピル アルコールの代わりに、正しく希釈した「Simple Green ® All-Purpose Cleaner」などの VOC 認定クリーナーを使用してください。




周囲の照明が反射するときは、クリーニング センサーは、表面全体で一様に青色に反射します。近づき、視点を少し変えることによってこの反射を確認できます。


3. アルコールが完全に気化するまで 3 ~ 4 分待機してから素材を再び取り付けます。

## 素材のエッジホルダーのクリーニング

左右のマージンを非常に小さくして印刷することがある場合、素材のエッジホルダーにインクが蓄積し、印刷物が汚れたり、プリントヘッドのノズルが詰まることがあります。


素材のエッジホルダーに乾燥したインクがないか、毎月確認してください。必要な場合は、糸くずの出ない布をイソプロピル アルコールで湿らせてクリーニングします。


 **注記：** カリフォルニア州では、イソプロピル アルコールの代わりに、正しく希釈した「Simple Green ® All-Purpose Cleaner」などの VOC 認定クリーナーを使用してください。

 **ヒント：** 通常は、エッジホルダーをプリンタから取り外す必要はありません。取り外すと、ヘッジホルダーが破損することがあります。必要な場合は、横に押すだけで素材から離すことができます。

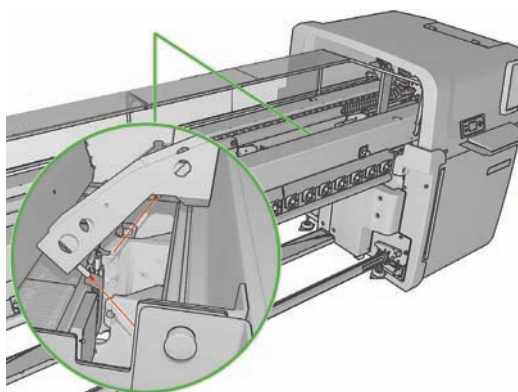
## 温度センサーのクリーニング

温度センサーのクリーニングが必要になると（プリンタの使用状況に応じて、約2か月ごと）アラートが表示されます。アラートが表示されたら、次の手順でセンサーをクリーニングします。

1. フロントパネルに移動し、**[温度センサーのクリーニング]** を [予防保守] メニュー  から選択します。OK を押して続行します。
2. 素材を取り外します。
3. 素材の取り外しが完了したら、緊急停止ボタンを押して、プリンタの機械コンポーネントと乾燥コンポーネントをオフにします。これはユーザーの安全性のために推奨します。
4. ドライヤーが冷めるまで待ちます。

 **注意：** 次の手順では、通常のプリンタの処理中に熱くなる箇所に近づいて作業します。続行する前に冷めていることを確認します。


5. 綿棒を蒸留水に浸します。クリーニング キットに綿棒が入っています。
6. 綿棒で両方の温度センサー（乾燥と硬化用）のレンズをクリーニングします。



7. プリンタの下から直接レンズを確認して、きれいになっていることを確認します。  
別の方法として、新しい綿棒を使って、綿に汚れがつかなくなるまで、クリーニングを続けます。
8. フロントパネルの OK を押して、センサーのクリーニングが完了したことをプリンタに通知します。
9. 緊急停止ボタンが解除されていることを確認してから、プリンタを再起動します。

## テンション ローラーのクリーニング

テンション ローラーは、素材送りが円滑ではなく定常的ではない表示されたとき、または汚れが確認できるときに、クリーニングする必要があります。

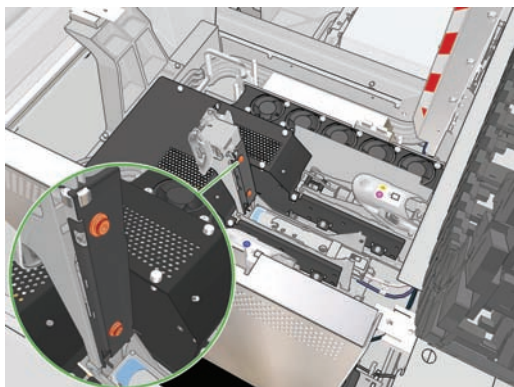
- 素材を取り外します。
  - フロントパネルに移動し、[予防保守] メニュー  から [Clean tension roller] (テンション ローラーのクリーニング) を選択します。テンション ローラーがゆっくり移動を開始します。
  - 水を浸したきれいな布でローラーをクリーニングします。石油系のクリーニング溶液は使用しないでください。
- △ **注意：** クリーニング中にローラーに手が巻き込まれないように注意してください。
- ローラーは キャンセル キーを押すまで回転し続けます。指を使って一時的に停止することもできます。
  - 素材を再び取り付ける前に、ローラーが乾燥していることを確認してください。

## プリントヘッド プライマの保守

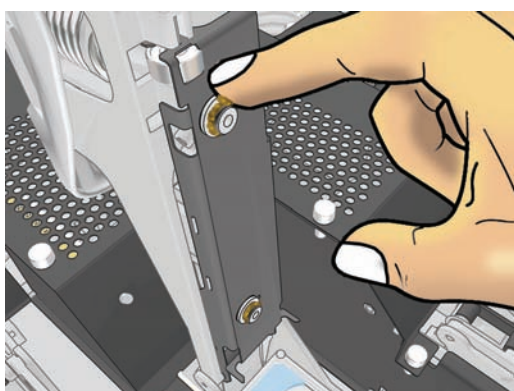
プリントヘッドのハード クリーニングで効果がない場合は、この手順を試してください。

1. フロントパネルに移動し、問題のあるプリントヘッドの交換処理を開始します (『ユーザーズ ガイド』を参照)。

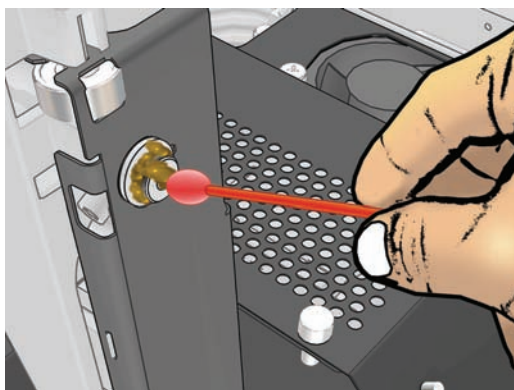
2. プリントヘッド カバーを持ち上げると、プリントヘッド カバーとプリントヘッドの間の結合部を密封する 2 つの「O」リングが現れます。



3. 指で少量のグリースを「O」リングに塗って、パフォーマンスを改善します。適切なグリースが、クリーニング キットのシリンジで利用できます。



グリースは、黒いゴム部分にのみ塗ってください。中央の穴にグリースがついた場合は、ようじなどで拭ってください。




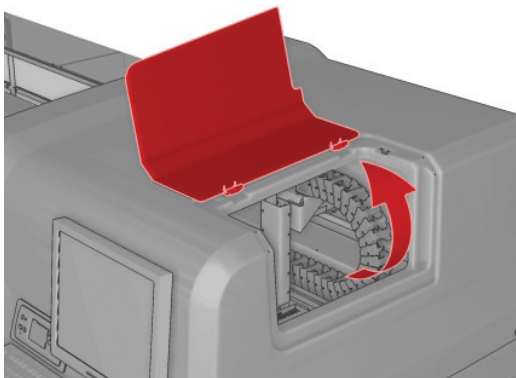
4. プリントヘッド カバーを閉じ、キャリッジ カバーとプリントヘッド アクセス ドアを閉じます。
5. プリントヘッドのハード クリーニングをリクエストします ([20 ページの「プリントヘッドの確認」](#)を参照)。
6. エラーがまだ解決しない場合は、サービス担当者に連絡します ([74 ページの「HP カスタマー・ケア・センター」](#)を参照)。



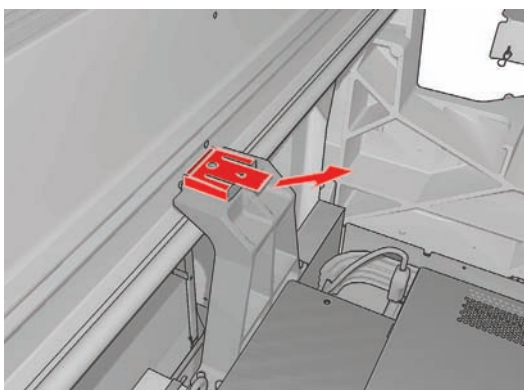
## キャリッジ油性フォームの交換

プリントヘッドのキャリッジに、キャリッジ レールに連続的に注油する、オイルを浸した 2 つのフォームが含まれます。プリンタの使用状況に応じて、2、3 か月ごとにフォームを交換する必要があります。交換用フォームはクリーニング キットに入っています。

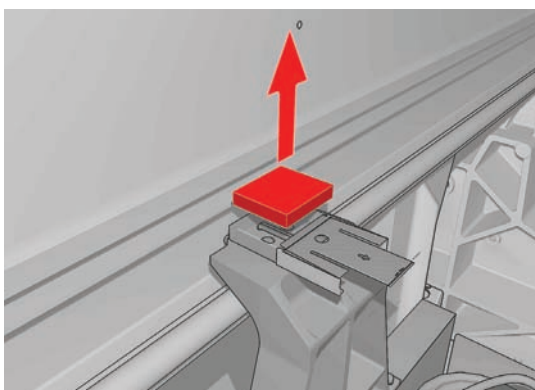
1. フロントパネルに移動し、**[油性フォームの交換]** を [予防保守] メニュー  から選択します。キャリッジが電極部分に移動し、加熱がオフになります。
2. プrintヘッド アクセス ドアを開きます。



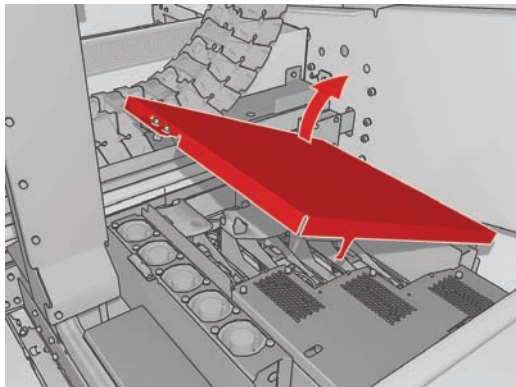
3. 前方の油性フォームのカバーをずらして開けます。



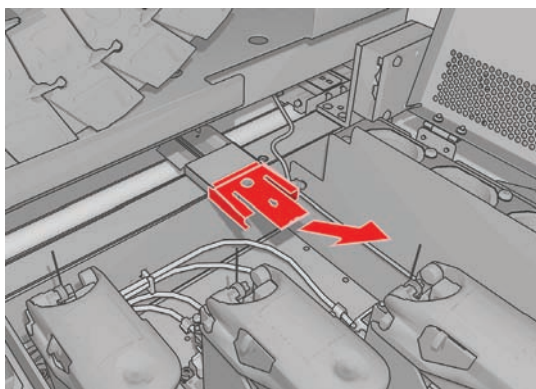
4. 古いフォームを取り外し、新しいフォームを挿入し、カバーを取り付けます。



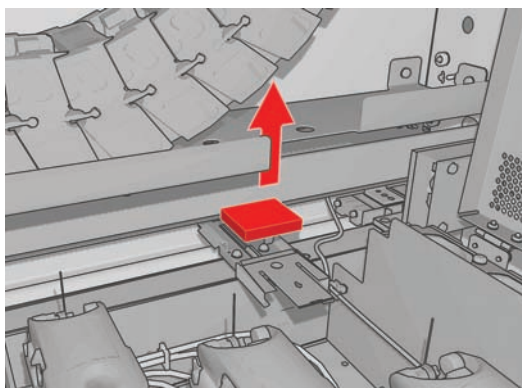
5. キャリッジ カバーを開くと、背面の油性フォームが見えます。



6. 背面の油性フォームのカバーをずらして開けます。



7. 古いフォームを取り外し、新しいフォームを挿入し、カバーを取り付けます。



8. キャリッジ カバーとプリントヘッド アクセス ドアを閉じます。
9. 終了したら、OK キーを押します。

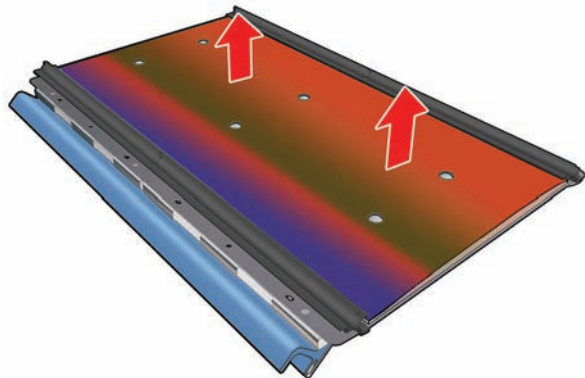
## インク コレクター フォームの交換

各インク コレクターに単一フォームがあります。フォームは徐々にインクを吸収していきます。インクがインク コレクター リブのレベルに到達すると、素材の下部に接触し、しみが残り始める場合があります。この時点で、フォームを新しいフォームと交換する必要があります。

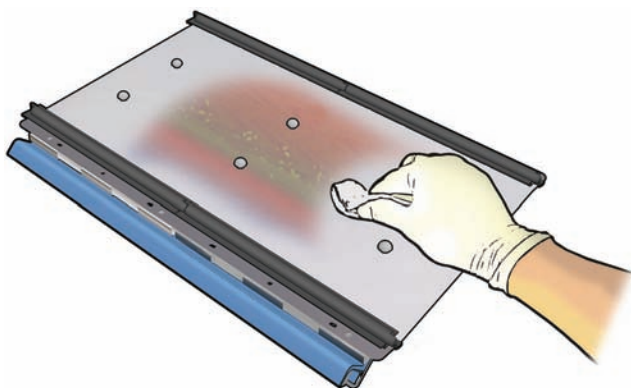
アブソーバー フォーム キット (製品番号 Q6703-67047) の注文は、サービス担当者にお問い合わせください。あらかじめ注文しておくことで、遅延を最低限に抑えることができます。

**注記：** このキットは、日常的なプリンタ保守作業に使用されるため、プリンタの保証の対象にはなりません。浸透性の素材を頻繁に使用する場合のみ必要となります。詳細については、*法律情報ドキュメント*を参照してください。

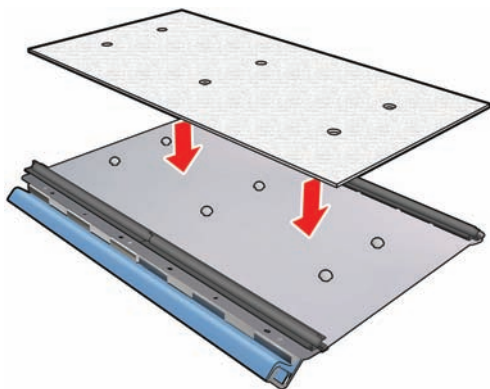
1. プリンタからインク コレクターを取り外します (ユーザーズ ガイドを参照)。
2. インクの鮮やかなフォームを取り外します。



3. プレートとリブを汎用クリーナーを使ってクリーニングします。リブが汚れていないことを確認します。



4. 新しいフォームを挿入します。推奨される方法は、最初にフォームの右端を右側のリブに挿入してから、右行の穴をはめ込み、次にフォームの左端を左側のリブに挿入してから、左行の穴をはめ込む方法です。




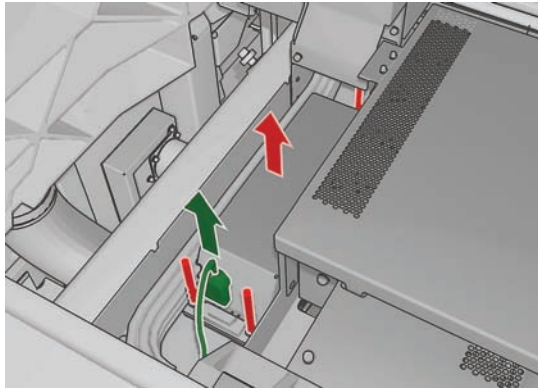
5. プリンタのインク コレクターを交換します。



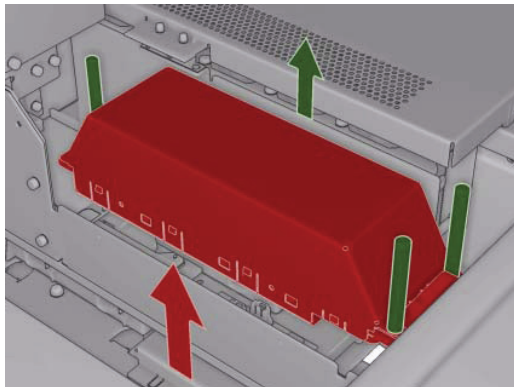
## ライン センサー ボックスの交換

ライン センサー ボックスの交換が必要になるとアラートが表示されます。キャリッジが右に移動してボックスに簡単にアクセスできるようになり、キャリッジに電気が送られなくなります。アラートが表示されたら、次の手順でボックスを交換します。

1. フロントパネルに移動し、[センサー ボックスの交換] を [予防保守] メニュー  から選択します。
2. キャリッジが右側のカバーから離れます。
3. ライン センサー ボックスの 3 本のネジを外し、接続ケーブルを取り外します。



4. ライン センサー ボックスを取り外します。



5. ケーブルを新しいライン センサー ボックスに接続します。
6. 新しいボックスをプリンタに置き、ネジで適切な場所に固定します。ツールは必要ありません。
7. フロントパネルの OK を押します。
8. キャリッジに電気が送られ、センサーが確認されます。

## プリントヘッド クリーニング ロールとエアゾール フィルタの交換

プリントヘッド クリーニング ロールは印刷パス間のプリントヘッドをクリーニングするために使用されます。このロールは印刷品質を維持するために定期的に交換する必要があります。交換の頻度はプリンタの使用状況により変わります。平均的な使用の場合は、1 か月に 1 回程度です。


ロールの使用率が 75% になったときと使用率が 95% になったときにアラートが表示されます。いつでもロールの交換を選択できます。

新しいジョブを開始するために十分なロールがない場合は、プリンタによりジョブがキャンセルされます。

プリントヘッド クリーニング ロールを交換するときは常に、エアゾール フィルタも交換する必要があります。ロールとエアゾール フィルタは同じパッケージに入っています。

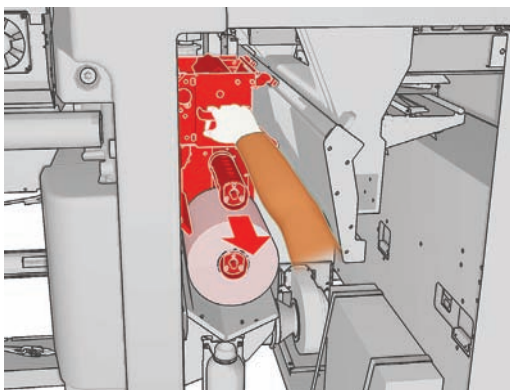
☺ **ヒント：** 作業中は手袋をはめることをお勧めします。

## プリントヘッド クリーニング ロールの交換

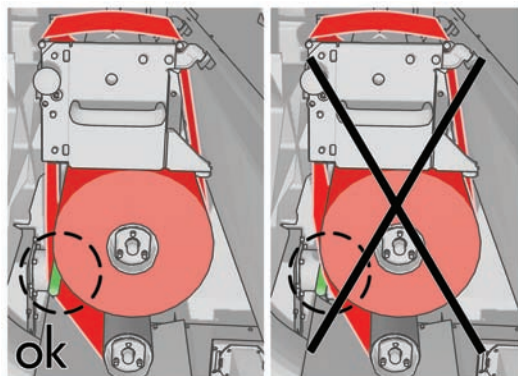
1. フロントパネルに移動し、**【クリーニング ロールの交換】**を[インク システム]メニュー  から選択します。ロールの未使用部分は、この時点で巻き取りロールに巻きついています。未使用部分がロール全体の 5% 以上に達する場合は警告が表示されます。

☺ **ヒント：** この手順のはじめで **【クリーニング ロールの交換】** を選択し忘れた場合は、後から選択しないでください。代わりに、エアゾール フィルタとクリーニング ロールを交換するまで待ち、[インク システム]メニューから **【クリーニング ロールの確認】** を選択します。

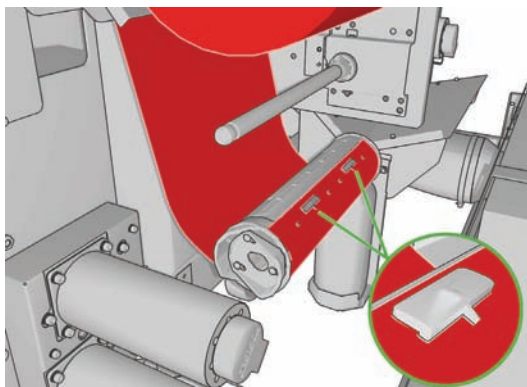
2. プリントヘッドのクリーニング ロールを交換するには、プリンタの右前にあるドアを開きます。
3. ハンドルを握り、プリントヘッドのクリーニング ロール アセンブリをドアから引き出します。



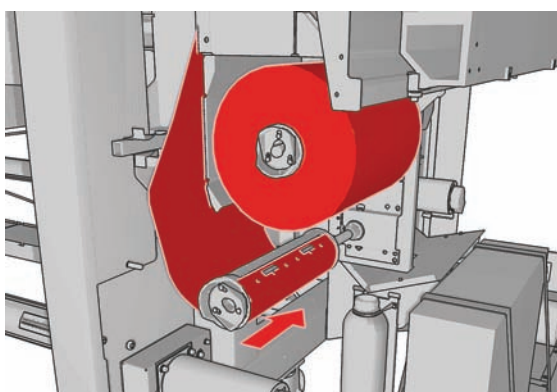
4. 両方のロールを軸からずらして外し、新しいロールに付いている手順に従って使用済みのクリーニング材料のロールを処分します。巻き取りコアとして使用するために空のコアを保存します。
5. 新しいロールを上部の軸に取り付けます。音がするまで所定の位置に押し込みます。
6. 左上にある黒のノブを引き出し、ピンチ システムを脇に移動します。
7. ロールの先端を上部リールに渡し、左にあるローラーにクリーニング材料を通します。



8. クリーニング材料の先端にポリエステル フィルムのストリップがあります。巻き取りコアにある穴に挿入して、固定します。



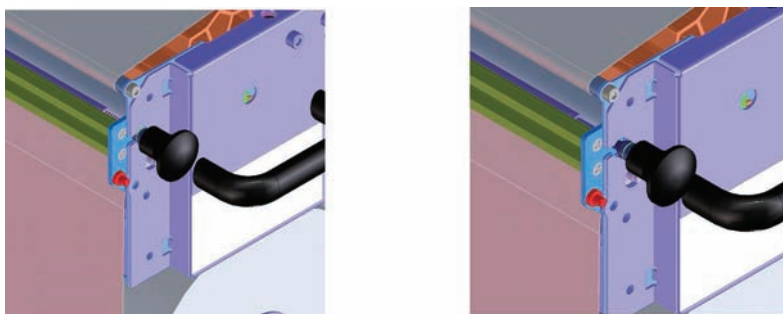
9. 巻き取りコアを下の軸に取り付けます。音がするまで所定の位置に押し込みます。



☒ **注記：** クリーニング ロールが正しく取り付けられていない場合は、プリントヘッドのクリーニング ロールの詰まりの解消に関するメッセージが表示されます。アセンブリ全体を引き出し、ロールを少し巻いて、元に戻します。プリンタにより再びロールがチェックされます。

10. 黒のノブを所定の位置に戻し、ピンチ システムを元に戻します。クリーニング ロールがきつすぎるために、抵抗を感じる場合は、ロールを反時計回りに少し回転します。

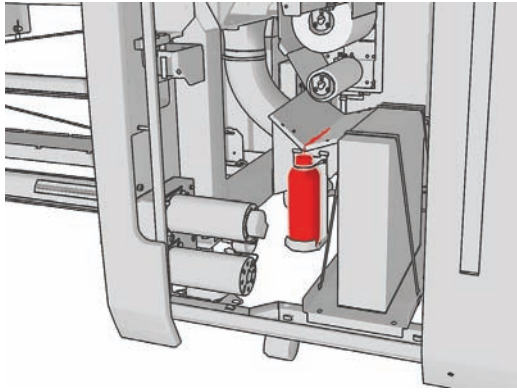
☀ **ヒント：** 黒いノブの向こう側に緑色のリングがありますが、ノブが正しく取り付けられると見えなくなります。緑色のリングが見える場合は、取り付け直してください。



11. ハンドルを握り、プリントヘッド ロール アセンブリ全体をプリンタに押し戻します。

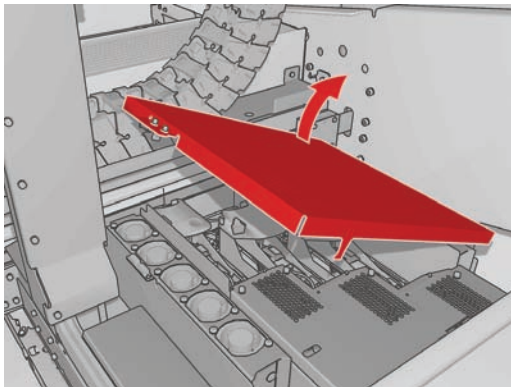
12. ドアを閉じます。

排出コンテナを空にしないでください。予防保守中にサービス エンジニアが実行します。

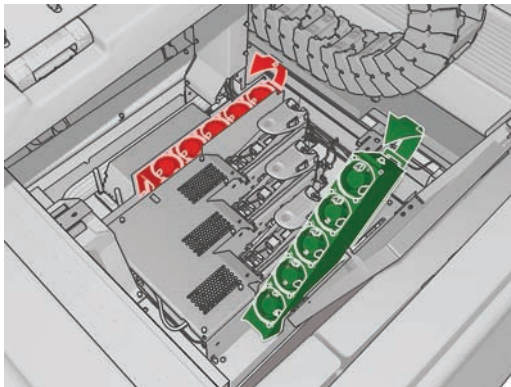


## エアゾール フィルタの交換

1. プリンタ側面のプリントヘッド アクセス ドアを開き、キャリッジ カバーを持ち上げます。

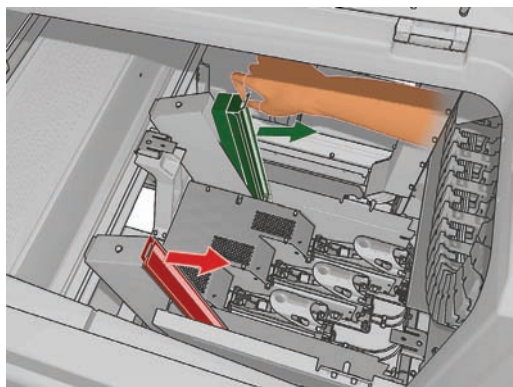



2. エアゾール フィルタ コンテナはプリントヘッドに近い側面と遠い側面にあります。
3. 右のフィルタ コンテナを持ち上げ、左に回します。





- 古いフィルタをコンテナの下部から引き出し、新しいフィルタに付いている手順に従って、処分します。



- 新しいフィルタのパックを開封し、各フィルタのそれぞれ端にある青のタブがフィルタに対して直角であることを確認します。
- 新しいフィルタをコンテナに挿入します。
- フィルタの青のタブがコンテナのフックに正しくかみ合っていることを確認します。かみ合っていない場合は、コンテナは完全に閉まらないことがあります。
- コンテナは所定の位置に下げます。
- キャリッジ カバーを下げ、ドアを閉じます。フロントパネルの **OK** キーを押します。
- プリントヘッドのクリーニング ロールを交換する前に **[クリーニング ロールの交換]** の選択を忘れた場合は、フロントパネルに移動し、**[クリーニング ロールの確認]** を **[インク システム]** メニュー  から選択します。

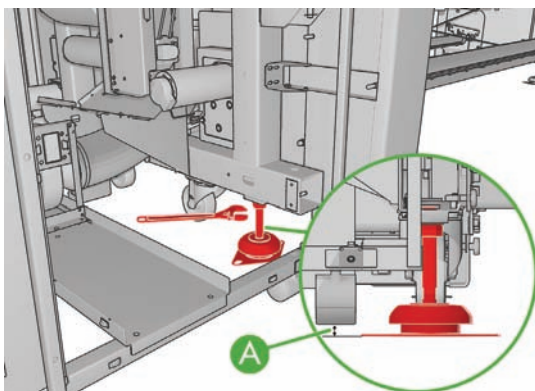
## プリンタの移動

同じサイトでプリンタを短い距離（段差がないフロアでの水平移動、または 5% 以上の傾斜のスロープがない場合）移動する場合は、次の手順に従います。困難な状況での移動操作については、サービス担当者に連絡します（74 ページの「[HP カスタマー・ケア・センター](#)」を参照）。

△ **注意：** 5% 以上の傾斜のスロープではプリンタが損傷することがあります。

- プリンタの電源を切ります。
- プリンタからすべての電源ケーブルやネットワーク ケーブルを取り外します。
- すべてのインクカートリッジを取り外し、プリンタから取り出します。カートリッジ コネクタは、粘着テープで適切な位置に固定します。
- 脚部を上げて、ホイール (A) が接地するようにします。脚部を上げるには、次のとおり実行します。
  - 30mm ((1.18 インチ)) のレンチで脚部の一番上にあるナットのロックを解除します。
  - 手でナットを回転して、ボルトに対して下に移動します。ナットと脚部の間に約 2cm ((0.8 インチ)) の隙間を確保します。
  - 15mm ((0.59 インチ)) のレンチで脚部を上へねじ込みます。ボルトの底面 (平面) をレンチにぴったり合わせます。
  - ボルトが許容する限り脚部を上げます。
  - 30mm ((1.18 インチ)) のレンチでナットを再びロックします。

△ **注意：** できる限り脚部を上げるてください。プリンタを移動中に脚部が床面に接触した場合に損傷することがあります。



5. 上部カバーの外側のコーナーからプリンタを押します。

プリンタを移動した後に、場合により、電気技術者が電源ケーブルを接続し直す必要があります。また、フロントパネル、HP Internal Print Server コンピュータ、および RIP コンピュータから、ネットワークを設定し直す必要があります。詳細については、『インストール ガイド』を参照してください。

## プリンタ保守キット

保守キットには、長期間使用した後に交換が必要なプリンタ コンポーネントが含まれます。いずれかが必要なときは、HP Internal Print Server によってアラート ("予防保守#2"など) が表示されます。

メッセージが表示されたときは、サービス担当者 ([74 ページの「HP カスタマー・ケア・センター」](#)を参照) までお問い合わせの上、保守キットを入手してください。キットをインストールできるのは、サービス エンジニアだけです。

予防保守が必要である時期を確認するには、HP Internal Print Server で **[情報]** - **[保守]** を選択します。

## クリーニング キット

クリーニング キットはプリンタに付属しています。通常の使用で 1 年間に必要なクリーニング材料を提供することを目的としています。キャリッジ レール用オイル、交換用油性フォーム、手袋、スポンジおよび綿棒が含まれます。

## 5 ソフトウェア保守

### HP Internal Print Server の保守

HP Internal Print Server は、プリンタに付属するコンピュータの Microsoft Windows で動作します。この動作環境では、最適なパフォーマンスを維持するために各種の確認事項があります。コンピュータを再起動して、HP Internal Print Server を開始する前にこれらの事項を確認できます。

- ユーザ アカウントは標準アカウントを使用し、管理者アカウントを使用しない。
- 出荷時にインストールされたソフトウェア以外のソフトウェアをこのコンピュータにインストールしない。
- アンチウイルス プログラムがインストールされている場合は、ファイル システムの定期チェックを許可しない。
- タスク マネージャの [パフォーマンス] タブで、CPU 使用率が 5% 未満 (3% 未満が望ましい) である。
- メモリの使用状況が 1GB 未満 (800MB 未満が望ましい) である。
- ディスクの空き容量が少なくとも 10GB ある。
- コントロール パネルで、[ハードウェアとサウンド] - [電源オプション] を選択し、高パフォーマンスの電源プランを選択し、スリープ モードを無効にする。
- ブランクのスクリーン セーバーを使用する。
- [スタート] を押して、[コンピュータ] を右クリックする。[管理] - [デバイス マネージャ] - [ディスク ドライブ] を選択する。ハード ディスクを右クリックし、[プロパティ] - [ポリシー] を選択する。[パフォーマンスのために最適化する]、[ディスクの書き込みキャッシュを有効にする] および [拡張処理能力を有効にする] がすべて有効であることを確認する。
- デフラグのスケジュール実行が有効であることを確認する。[スタート] を押して、[コンピュータ] を右クリックする。[管理] - [ディスクの管理] を選択する。ハード ディスクを右クリックし、[プロパティ] - [ツール] - [最適化する] を選択し、[スケジュールどおりに実行する] が有効であることを確認する。
- コントロール パネルで、[システム] - [システムの詳細設定] - [詳細設定] - [パフォーマンス] - [視覚効果] - [カスタム] を選択する。すべての効果が無効であることを確認する。ただし次の [デスクトップ コンポジションを有効にする]、[透明感を有効にする]、[スクリーン フォントの縁を滑らかにする] および [ウィンドウとボタンに視覚スタイルを使用する] を除く。
- Internet Explorer を開き、[ツール] - [インターネット オプション] - [接続] - [LAN の設定] を選択する。プロキシ サーバーを使用している場合は、[ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない] が有効であることを確認する。



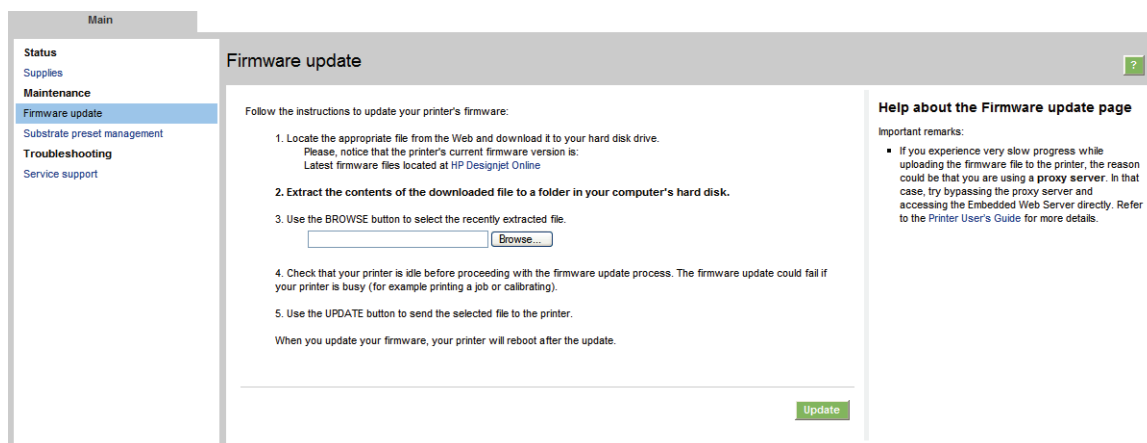
- コンピュータがインターネットに接続されていることを確認し、Windows Update ですべての利用可能なアップデート (Windows Service Pack を含む) が正常にインストールされていることを確認する。
- HP Internal Print Server を開始し、[ファイル] - [ジョブの削除] で以降使用しないすべてのジョブを削除する。

## ファームウェアをアップデートする

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のソフトウェアによって制御されています。このソフトウェアは、ファームウェアとも呼ばれます。

ファームウェアのアップデートは、随時、Hewlett-Packard から入手することができます。このアップデートにより、プリンタの性能が向上し、プリンタの機能が拡張されます。

ファームウェアのアップデートは、HP Internal Print Server でインターネットからダウンロードしてプリンタにインストールできます。[メイン] タブから、[ファームウェアのアップデート] を選択します。




画面の指示に従ってファームウェア ファイルをダウンロードしてハードディスクに保存します。次に、ダウンロードしたファイルを選択し、[アップデート] をクリックします。

ファームウェアには、最も一般的に使用される素材プリセットが含まれています。追加の素材プリセットは、別途ダウンロードできます (『ユーザーズ ガイド』を参照)。

## 6 素材に関するトラブルシューティング

### 素材が正しく取り付けられない

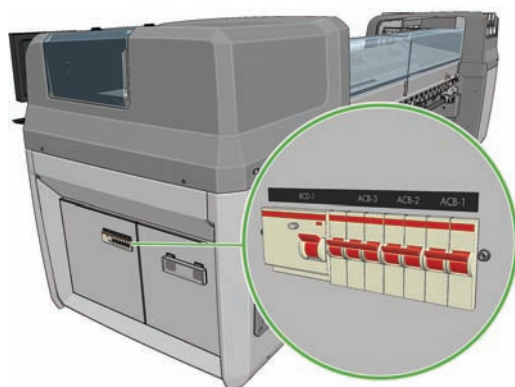
- すべてのプリンタ サブシステム (インク システムなど) の準備が完了しない限り、素材を取り付けできません。
- プリンタがキャリッジ ビーム位置を認識しない場合は (プリンタのリカバリーまたはシャットダウン後)、フロントパネルの素材管理アイコン  を選択し、[キャリッジ ビーム位置] - [キャリッジ システムのリカバリー] を選択します。
- スピンドルが正しく膨らんでいることを確認します。
- フロントパネルを使用して、素材を少なくとも 3m ((10 フィート)) 送ってから、素材を戻して再度取り付けます。取り付けられない場合、素材がインプット側の芯に取り付けられていない可能性があります。別のロール紙で試してください。

### 素材が詰まっている

プリンタから素材詰まりのレポートがあった場合は、次の手順を実行します。

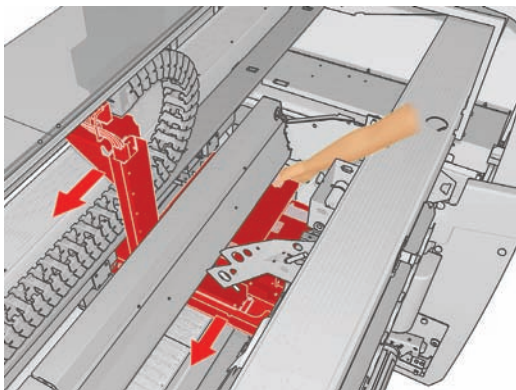
1. キャリッジが移動中または移動しようとしている場合は、できるだけすみやかに緊急停止ボタンを押して、プリントヘッドの損傷を最小限に抑えます。

緊急停止ボタンを押す前にプリンタが自動的にシャットダウンした場合は、ブレーカー ACB-1 をオフにします。



2. プリンタの温度が下がるまで 10 分ほど待機します。

3. 実行可能な場合は、手動でキャリッジをゆっくりと慎重に片側に移動し、素材から離します。詰まりがひどいために移動できない場合は、キャリッジ ビームを最も高い位置まで上げてみてください。



4. 印刷領域や破片が落ちている可能性のある他の部分から、すべての素材（破片）を取り除きます。特に硬化領域を確認します。完全に取り除くことができない場合は、サービス担当者にお問い合わせください (74 ページの「HP カスタマー・ケア・センター」を参照)。
5. プリンタを再起動し、素材を再び取り付ける前に、すべてのブレーカーがオンであり、すべての緊急停止ボタンが解除されていることを確認してください。

## 素材がインプット側の芯に取り付けられていない

取り付け後の素材チェック中にテンションの欠如が検出された場合は、巻き取り方向の確認を求めるメッセージが表示されます。

ロール紙がインプット側の芯にしっかり取り付けられていない場合、印刷物にバンディングが現れることがあります。

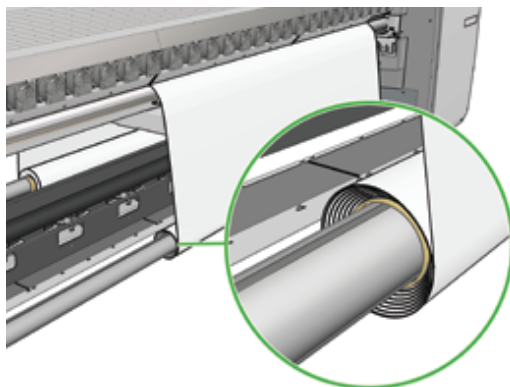
印刷中にエラー番号 78.2:01 のエラー メッセージが表示されたら、素材が背面のスピンデルから外れているか、芯がスピンデルで滑っている可能性があります。これは、ロール紙の末端に到達したか、スピンデルが正しく膨らんでいないか、デュアルロールのディファレンシャル ハブがロックされていることを示している可能性があります。このエラーが発生すると、素材が自動的に取り外されます。

このエラーには以下の方法で対処できます。

- ロールの末端に到達したかどうかを確認します。
- 単一ロール印刷の場合、スピンデルが正しく膨らんでいることを確認します。
- デュアルロール印刷の場合は、ディファレンシャル ハブのロックが解除されていることを確認します。
- ハブがスピンデルにしっかりと固定されていることを確認します。
- 各素材の芯の直径がスピンデルに対して大きすぎないことを確認します。
- 各素材の芯が各側のハブにしっかりと接続されていることを確認します。

ロール紙がインプット側の芯にしっかりと取り付けられていない場合、次の手順を実行します。

1. ロール紙をインプット スピンドルから取り外し、アウトプット スピンドルに取り付けます。はまり込まないように注意してください。



2. ピンチを上げ、フロントパネルの [素材の管理] メニューで、キャリッジ ビームを最も高い位置に上げます。
3. 素材をロールから取り外し、インプット スピンドルに向かってプリンタ内で後ろに動かします。素材をインプット スピンドル上の空の芯に取り付け、粘着テープで固定します。インプット側の芯の周りで素材を 2、3 周巻きます。素材がアウトプット ロールと揃うように注意してください。
4. ピンチを下げます。
5. HP Internal Print Server に移動し、[素材] - [取り付け/取り外し] を選択してから、プリンタの設定を選択し、[取り付け] を押します。

**注記：** 素材の確認に失敗した場合、ロールをインプット側に戻し、アウトプット側の空の芯に取り付けます。ピンチを上げ、フロントパネルの [素材の管理] メニューを使用して、すべての素材をアウトプット側の芯に移動します。

6. HP Internal Print Server で適切な素材を選択します。
7. フロントパネルで **素材を移動** キーを押して **戻る** キーを押し、すべてのロール紙がインプット スピンドルに巻き取られるまで待ちます。
8. 素材がアウトプット ロールから取り外されたら、巻き取りをキャンセルできます。次に、素材をアウトプット側の芯に取り付けてすぐに印刷するか、ロールを取り外す場合はインプット側の芯に完全に巻き直します。

## コレクターが巻き取りを途中で停止する (LX800 のみ)

コレクターの安全対策として、数秒後に完全に収集されない場合は、素材の巻き取りが停止します。多数の素材を収集する必要がある場合は、停止後、手動でコレクターを再起動する必要があります。

## コレクターが適切に機能しない場合がある (LX800 のみ)

コレクターは、光学式センサーが汚れている場合、または何らかの障害によって遮られている場合には、正しく機能しない可能性があります。

## コレクターが間違った方向で巻き取る (LX800 のみ)

1. HP Internal Print Server で巻き取り方向が正しく設定されていることを確認してください。
2. コレクターの 2 つの光学式センサーを遮る障害がないことを確認してください。

## コレクターでスピンドルから素材を外れる (LX800 のみ)

次のような原因が考えられます。

- 巻き取り方向が間違っていて設定されている。
- コレクターが間違っていて取り付けられている。
- ループシェイパがなく、テンションが多すぎる。

## コレクターにスキューまたははまり込みがある (LX800 のみ)

これは、素材の位置がずれているか、またはループシェイパの長さが間違っている場合に発生することがあります。

## コレクター上で素材が詰まっている (LX800 のみ)

次のような原因が考えられます。

- コレクターに素材が多すぎる。アウトプットロールの直径は、外側の巻き取りでは、最大 230mm ((9 インチ))、内側の巻き取りでは、最大 150mm ((5.9 インチ)) です。
- 素材の位置がずれている。
- ループシェイパの長さが間違っている。

## 素材がプラテンに張り付く

素材がプラテンに張り付いたときに、一番可能性のある原因は、過熱と過剰なバキュームです。乾燥温度やバキュームの低下を試みます。

プリンタ設定の調整方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

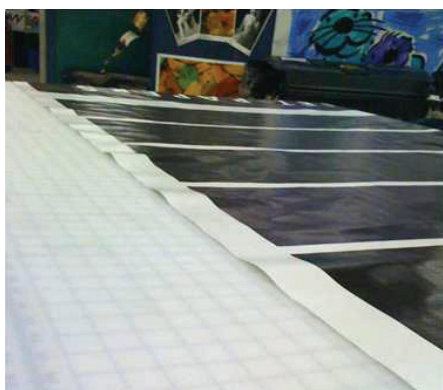
## 素材が排出されたときにインクが完全に乾燥していない

1. 取り付けした素材が、HP Internal Print Server で選択しているものと同じ種類であることを確認してください。
2. インク量を減らします。
3. 硬化温度および乾燥温度を上げます。
4. 硬化プレートが、現在の素材に対して正しい位置であることを確認します。
5. 上記の手順を実行した後で、左側の一部の領域 (LX800) または硬化ランプの間が乾燥していない場合は、エアフローを下げてみてください。

プリンタ設定の調整方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

## 素材が平らではない

プリンタから排出されるときに、素材が浅く波打って、平らではない場合に、印刷されたイメージに垂直のすじが現れるなどの問題が発生することがあります。これは、印刷されたインクを吸収しきれないほど薄い素材を使用した場合に発生することがあります。また、素材に加えられる熱とバキュームプレッシャの組み合わせによって発生することもあります。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている素材と同じ種類の素材が取り付けられていることを確認します。
2. 紙の素材を使用している場合は、厚い素材に変更してください。

## 素材にしわがよる

素材のしわは、素材の形を制御する素材設定が最適化されていないことを示します。これはさまざまな印刷の問題の原因となります。

- しわの近くの塗りつぶしでカラー バンディングが生じる
- プリントヘッドが素材に触れるとインクが付着する
- 素材上のプリントヘッドの動きが妨げられると素材が損傷する

印刷中にしわが発生するのには、さまざまな理由があります。

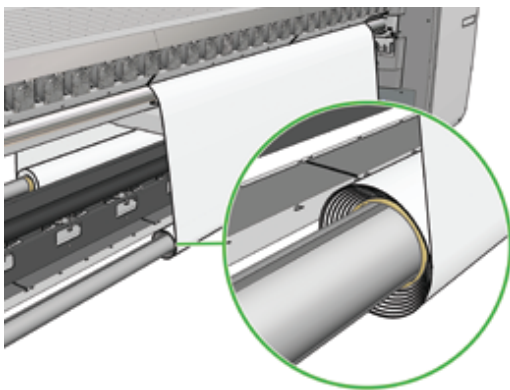
- 素材の取り付けが間違っている
- プリンタを通る素材のルーティングが間違っている
- エッジホルダーの位置が適切でない
- 素材に対して乾燥温度および硬化温度が高すぎる
- 乾燥温度および硬化温度間の差が大きいため、生じる可能性のある、温度の変化による素材の膨張の差
- テンションが不十分、または素材全体でテンションが均一でない

印刷物にしわが発生する場合、以下の推奨方法をお試してください。

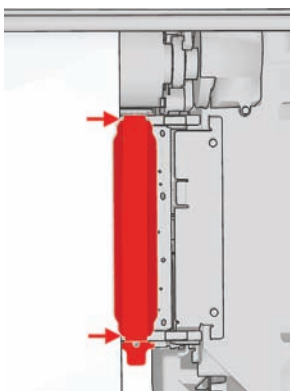
1. 使用している素材が、HP Internal Print Server で選択しているものと同じ種類であることを確認してください。
2. 素材を取り付ける際は、スキューを最小限に抑えてください。



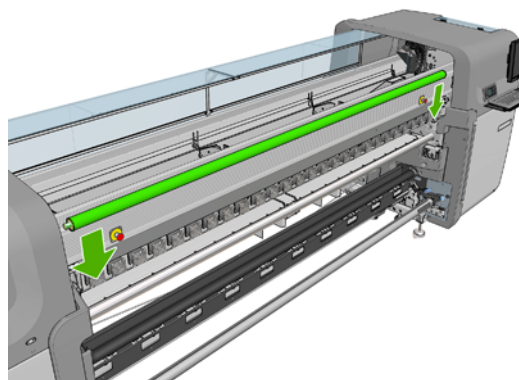
3. インプット ロールのはまり込みがないことを確認してください。



4. 素材のエッジホルダーが正しく位置決めされていることを確認してください。



5. LX800のみ：インクコレクターキットから誘導ローラーを使用してください。自動接着素材に印刷する際は、両方の誘導を使用し、布地に印刷する場合はアウトプット誘導のみを使用することをお勧めします。



6. 素材のテンションを上げます。
7. 乾燥温度および硬化温度を下げ、2つの温度間の差を最低限に抑えます。
8. LX800のみ：プリンタ設定を変更することを考慮してください。フリーフォールへの巻き取り設定は、しわになりやすいです。
9. しわを取り除けない場合は、プリントヘッドが素材に近づかないように、キャリッジビームをわずかに上げてみてください。

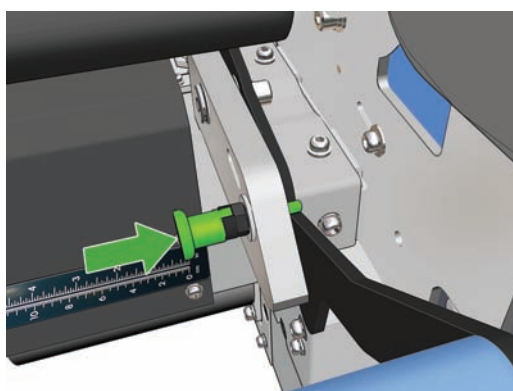
プリンタ設定の調整方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。



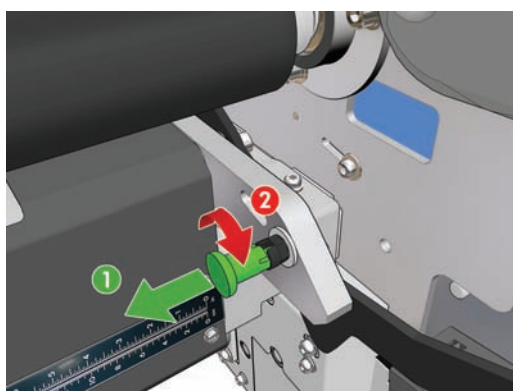
## 素材にインクが残る

この問題の原因は、キャリッジが素材に接触し、インクが付着することです。

1. インクの汚れが素材の中央ではなく端にある場合は、素材のエッジホルダーが正しく取り付けられ、汚れていないことを確認します。[29 ページの「素材のエッジホルダーのクリーニング」](#)を参照してください。
2. バキュームレベルとテンションレベルが正しいことを確認します（ユーザーズガイドを参照）。
3. LX800のみ：インクコレクターキットを使用して、浸透性の素材を印刷する場合は、インクコレクターフォームがインクが満杯でないことを確認します。素材が十分なテンションで維持されていない場合は、フォームに触れる可能性があります。
4. LX800のみ：フリーフォールへの巻き取り設定で印刷し、インクの斜線の付着がある場合は、素材が間違っており取り付けられているか、またはテンションローラーによって素材にしわが発生していることがあります。後者の場合、以下で示すように、ローラーが素材上でかけるプレッシャを下げるためにテンションローラーノブを使用することができます。




テンションローラーを正常に回復させるには、ノブを引いて、以下のように回します。



## 素材にインクの汚れがある



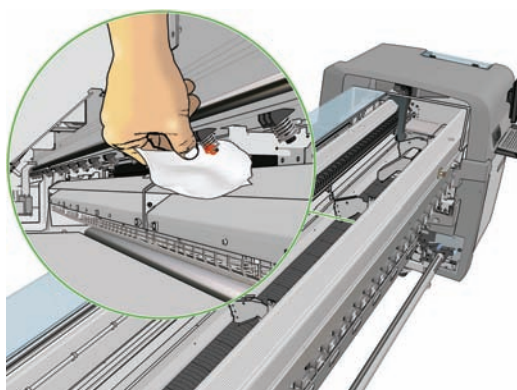
 **注記：** 上記の例では、汚れと汚れの間の距離が約 1cm ((0.4 インチ)) です。

1. 素材のエッジホルダーをクリーニングします。[29 ページの「素材のエッジホルダーのクリーニング」](#)を参照してください。
2. ラインセンサーおよびエアゾール吸入口をクリーニングします。繊維が吸入口の周りに蓄積する場合があります。[26 ページの「ラインセンサーとエアゾール吸入口のクリーニング」](#)を参照してください。
3. プリントヘッドの電極部分をクリーニングします。[61 ページの「プリントヘッドを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される」](#)を参照してください。

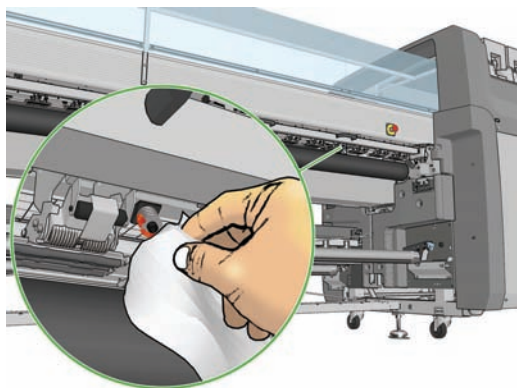
## 素材にオイルの汚れがある

プリンタの油性フォームの交換後、数日または数週間以内に、素材またはメインローラーにオイルの汚れが見られる場合があります。この場合は、次の手順を実行します。

1. プリンタの電源を切ります。
2. 1～2時間、プリンタの温度を下げたままにします。
3. キャリッジレールをサポートしている前面のパネを、糸くずの出ない布できれいに拭きます。



4. キャリッジ レールをサポートしている背面のバネを、糸くずの出ない布できれいに拭きます。



場合によっては、オイルが流れなくなるまで、数日または数週間、毎日この処理方法を繰り返す必要があります。

※ **ヒント：** 油性フォームにオイルを追加しすぎないでください。上記の問題が発生することがあります。



## 7 印刷品質に関するトラブルシューティング

### 一般的なヒント

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP 純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。推奨する素材についての詳細は、『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
- HP Internal Print Server で選択されている素材の種類が、プリンタに取り付けられている素材の種類と同じであることを確認してください。

△ **注意：** 誤った素材の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。

- 素材が平らになっていて、しわがないことを確認します。必要に応じて、印刷可能領域からしわが移動するまで素材を送るか、または素材を取り付け直します。
- 使用する素材のカラー キャリブレーションが完了していることを確認してください。
- 素材と印刷モードに対して正しい ICC プロファイル、および正しい入力プロファイルを使用していることを確認します。
- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します (『ユーザーズ ガイド』を参照)。
- 環境状況 (温度、湿度) が推奨する範囲内にあることを確認します (『ユーザーズ ガイド』を参照)。
- プリンタのアラートが表示されていないかどうかを確認します。
- 印刷の実行中は、素材に触れないようにします。
- 印刷物がプリンタからすべて排出されるまで、印刷品質を判断しないでください。
- プリントヘッドの軸合わせを確認し、必要に応じてプリントヘッドの軸合わせをやり直します。[9 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」](#)を参照してください。
- 素材送りの補正を確認し、必要に応じて調整します。[10 ページの「素材送りの補正」](#)を参照してください。
- 動的カラー登録を確認し、必要に応じて調整します。[15 ページの「動的カラー登録」](#)を参照してください。

### バンディング

バンディングとは、次のとおり印刷イメージに横線 (線のカラーは異なる場合がある) が現れることです。



**素材の幅全体に細い白線がある場合：**

1. HP Internal Print Server で、プリントヘッドにノズルのつまりがないかどうかを確認し、必要に応じてクリーニングします。[20 ページの「プリントヘッドの確認」](#)を参照してください。
2. ノズルのつまりがない場合は、電極部分に汚れがないことを確認します。[61 ページの「プリントヘッドを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される」](#)を参照してください。
3. 電極部分に汚れがない場合は、素材送り設定を減らします。
4. 問題が解決しない場合は、パス数を増やします。

**素材の幅全体に暗い色の細い横線がある場合：**

1. HP Internal Print Server で素材送り設定を増やします。
2. 線が暗い色（飽和色）で表示される場合は、順番に従って、次の解決策を試します。
  - a. パス数を増やします。
  - b. 選択した印刷モードに対するインク量を減らします。
  - c. 乾燥温度を上げます。

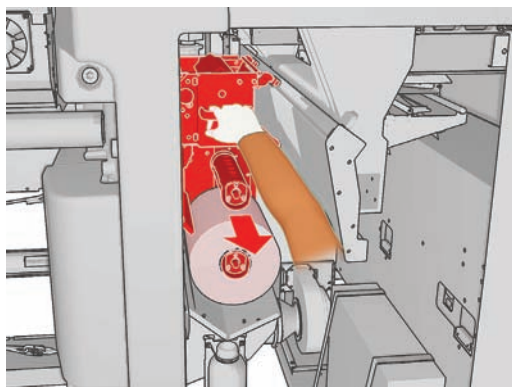
**素材送り設定を調整したが、同じプリントでランダムに白線と暗い線が現れる場合：**

1. HP Internal Print Server で素材送りステータスを確認します。素材送りに関する警告メッセージがある場合：
  - a. 素材を取り外し、素材送りセンサーをクリーニングします。[28 ページの「素材送りセンサーのクリーニング」](#)を参照してください。
  - b. 素材を再び取り付けて、通常通り確認します。
  - c. 警告メッセージがまだ表示される場合は、素材の種類を素材送りセンサーで認識できない可能性があります。センサーをオフにして (HP Internal Print Server の [取付済の素材] ウィンドウ)、手動で素材送りを調整します。[10 ページの「素材送りの補正」](#)を参照してください。
2. 問題が解決しない場合は、パス数を増やします。

**1 本以上の太線が素材の幅全体にある場合 (1 つのカラーがないと考えられる)：**

1. HP Internal Print Server で、プリントヘッドにノズルのつまりがないかどうかを確認し、必要に応じてクリーニングします。[20 ページの「プリントヘッドの確認」](#)を参照してください。

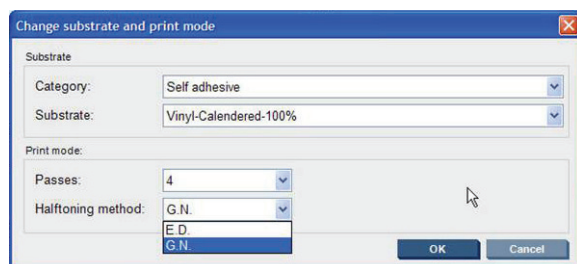
2. プリンタの右前のドアを開き、プリントヘッドのクリーニング ロール アセンブリを引き出します。



3. ロールの上部の水平部分とロールの垂直部分にインクがあることを確認します。ロールの垂直部分にインクがない場合は、プライマ ポンプに問題があります。この場合は、サービス担当者にお問い合わせください (74 ページの「HP カスタマー・ケア・センター」を参照)。

**素材の裏側の色や階調に変化がある場合** (たとえば、その部分に印刷されている場合)、印刷の一部にバンディングが現れることがあります。これは素材送りセンサーが混乱したためです。この場合は、センサーをオフにして (HP Internal Print Server の [取付済の素材] ウィンドウ)、手動で素材送りを調整します。

少なくともパスを 6 回を使用して印刷し、**波状の水平方向のバンディングがある場合**、パスの回数を増やすか、または [ジョブのプロパティ] ウィンドウの [変更] ボタンをクリックして、ハーフトーン方法を [G.N.] に変更します。

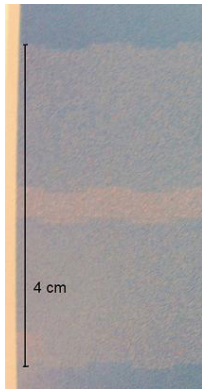


**ヒント:** [G.N.] 設定を使用している場合は、素材送りが適切にキャリブレーションされることが重要です。10 ページの「[素材送りの補正](#)」を参照し、11 ページの「[素材送りテスト印刷](#)」を使用してください。

**ヒント:** インク濃度が 100% で素材に 9 回以上のパスを使用して印刷する場合、使用している現在の設定と同じ設定で (ただし Vinyl High-Pass 100% に基づいて) 新しい素材を作成し、この新しく作成された素材でジョブを再送信できます。その後、10 回、14 回、または 18 回のパスを使用して印刷できます。これは、単一カラーで大きな領域を印刷する場合に役立ち、最高の印刷品質を得ることができます。

以下に示すような断続的な横方向のバンディングがある場合 :





1. 素材のエッジホルダーをクリーニングします。[29 ページの「素材のエッジホルダーのクリーニング」](#)を参照してください。
2. ラインセンサーおよびエアゾール吸入口をクリーニングします。繊維が吸入口の周りに蓄積する場合があります。[26 ページの「ラインセンサーとエアゾール吸入口のクリーニング」](#)を参照してください。
3. プリントヘッドの電極部分をクリーニングします。[61 ページの「プリントヘッドを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される」](#)を参照してください。

プリンタ設定の調整方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

## 白い直線が現れる

印刷物にインクの汚れがついた明るい色の線が現れる場合、繊維がプリントヘッドに付着したことで発生している可能性があります。

1. プリントヘッドをクリーニングして、繊維がないことを確認します。[20 ページの「プリントヘッドの確認」](#)を参照してください。
2. 素材のエッジホルダーをクリーニングします。[29 ページの「素材のエッジホルダーのクリーニング」](#)を参照してください。
3. ラインセンサーおよびエアゾール吸入口をクリーニングします。繊維が吸入口の周りに蓄積する場合があります。[26 ページの「ラインセンサーとエアゾール吸入口のクリーニング」](#)を参照してください。
4. プリントヘッドの電極部分をクリーニングします。[61 ページの「プリントヘッドを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される」](#)を参照してください。

## カラーの位置がずれる

この問題では、異なるさまざまな症状が現れます。

### カラーが垂直にずれる

1. プリントヘッドの軸合わせを確認して、必要に応じて修正してください。[9 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」](#)を参照してください。

2. 他のカラーよりもマゼンタが高い位置で素材に印刷される場合は、HP Internal Print Server の素材送り設定を増やします。



他のカラーよりもマゼンタが低い位置で素材に印刷される場合は、HP Internal Print Server の素材送り設定を減らします。



位置のずれがランダムに現れる場合は、バンディングに対する解決策を試します ([53 ページの「バンディング」](#)を参照)。

## カラーの位置が水平にずれる



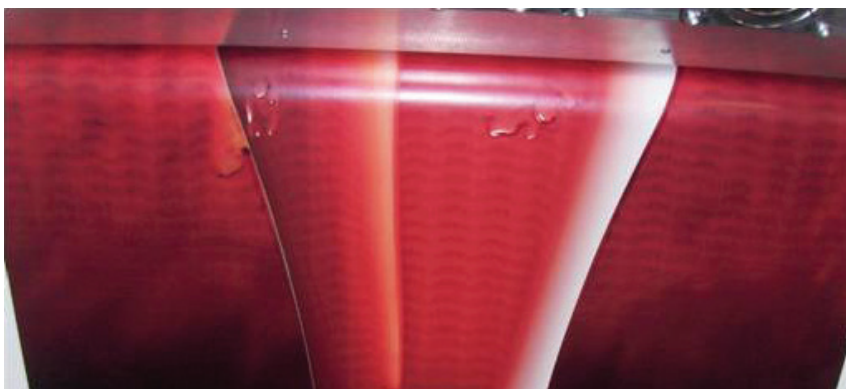
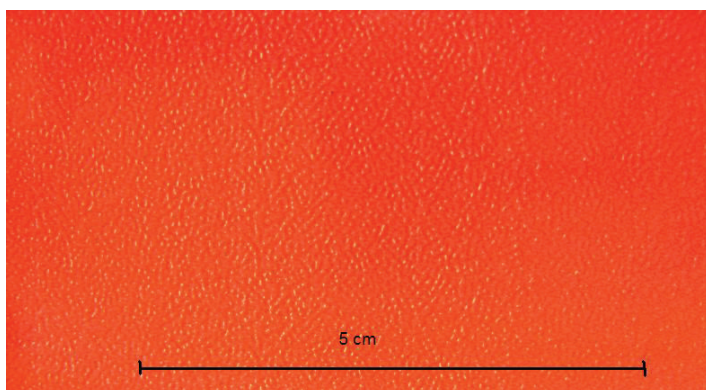
1. プリントヘッドの軸合わせを確認して、必要に応じて修正してください。 [9 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」](#)を参照してください。
2. 自動的なプリントヘッドの軸合わせ後も問題が解決しない場合は、手動でのプリントヘッドの軸合わせを試してください。
3. 素材がゆがんでいないことを確認します。ゆがみがある場合は、素材を取り付け直し、ゆがみをなくします。
4. キャリッジ ビーム位置を確認します。素材の種類で高い位置が必要ではないのにビーム位置が高い場合は、位置を下げます。

5. 位置のずれが素材の中央ではなく、端にある場合は、素材の膨張の問題があります。
6. 印刷された黒のテキストに問題がある場合は、テキスト カラーが他のカラーを含まない純粋な黒であるかどうかをアプリケーション (RIP) で確認します。

## 印刷に粒状感がある



1. 素材の正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
2. 素材送り設定を再調整します。
3. 問題が続く場合は、プリントヘッドの軸合わせを確認して、必要に応じて修正してください。[9 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」](#)を参照してください。
4. 暗いカラーや飽和色で粒状感が目立つ場合 (コアレスセンス):





- a. パスの回数を増やすか、または利用可能な場合は、一方向印刷を試してください。
- b. 乾燥温度を上げます。
- c. インク量を減らします。

プリンタ設定の調整方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

## 印刷が鮮明ではない

インクが乾燥していないためです。汚れまたは油性のしみが印刷物全体、または特定の領域のみに発生する場合があります (印刷物の端に発生する可能性が高い)。これにはさまざまな理由が考えられます：

- 乾燥温度および硬化温度が低すぎる。
- インク密度が高すぎる。
- 周囲の湿度が上がった。
- 周囲の温度が下がった。

以下に、推奨方法を示します。

1. 取り付けた素材が、HP Internal Print Server で選択しているものと同じ種類であることを確認してください。
2. 周囲の温度および湿度を確認し、必要に応じて変更してください。
3. 空調からプリンタに冷たい空気が吹き込まれないようにしてください。
4. 涼しい場所または湿度の高い場所で素材が格納されていた場合は、印刷する前に、しばらく印刷室に置いておきます。
5. 乾燥温度および硬化温度を上げます。
6. プリンタ内のエアフローを下げます。
7. 特定の領域でのみ問題が発生する場合 (印刷物の端など)、それらの領域のエアフローをオフにします。
8. 上記の推奨方法を試みた後でも問題が続く場合は、パス回数を増やしてください。

プリンタ設定の調整方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

## オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない

1. キャリッジ ビーム位置が高くないことを確認します。位置が高い場合は、プリントヘッドを手動で軸合わせする必要があります。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。
3. 素材プリセットを作り直します。

プリンタ設定の調整方法については、『ユーザーズ ガイド』を参照してください。

## 剥げ落ちたようなカラー

1. 使用しているパスが 4 つ未満の場合は、パス数を増やします。
2. インクの濃度を上げます。
3. 素材と印刷モードに対して正しい ICC プロファイルを使用していることを確認します。

プリンタ設定の調整方法については、『ユーザーズ ガイド』を参照してください。

## 色が正確に再現されない



1. 素材が正しく取り付けられていることを確認します。
2. HP Internal Print Server で選択された素材と同じ素材が取り付けられていることを確認します。
3. 取り付けられた素材に対して RIP で使用されている ICC プロファイルが正しいことを確認します。
4. カラーが素材の左側と右側で異なる場合は、ご使用のファームウェア バージョンが 14.1.1.1 以降であることを確認し (必要に応じてファームウェアを更新します)、双方向に印刷していることを確認してください。
5. 使用している素材固有の、ICC プロファイルの作成を検討してください。



## 8 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング

### インクカートリッジを取り付けられない

1. 正しい手順で、フロントパネルからインクカートリッジを変更します。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
2. インクカートリッジ コネクタに障害物がないことを確認します。
3. インクカートリッジのカラーが正しいことを確認します。カートリッジのカラーが間違っていると、カートリッジをコネクタに取り付けできません。
4. インクカートリッジの向きが正しいかどうかを (他のインクカートリッジと比較して) 確認します。

### プリントヘッドを取り付けられない

1. 正しい手順で、フロントパネルから、プリントヘッドを変更します。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
2. プrintヘッド スロットに障害物がないことを確認します。
3. プrintヘッドの向きが正しいかどうかを (他のPrintヘッドと比較して) 確認します。
4. プrintヘッドのカバーが閉じられ、ラッチで固定されているかどうかを確認します。

### インクカートリッジを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される

1. インクカートリッジを取り外します。
2. インクカートリッジを再び取り付け、フロントパネルのメッセージを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、新しいインクカートリッジを取り付けます。
4. 問題がまだ解決しない場合は、サービス担当者に連絡します ([74 ページの「HP カスタマー・ケア・センター」](#)を参照)。

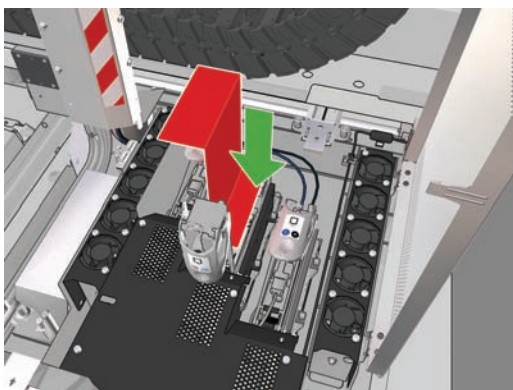
### プリントヘッドを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される

1. プrintヘッドを取り外します。
2. プrintヘッドをキャリッジに再び取り付け、フロントパネルのメッセージを確認します。



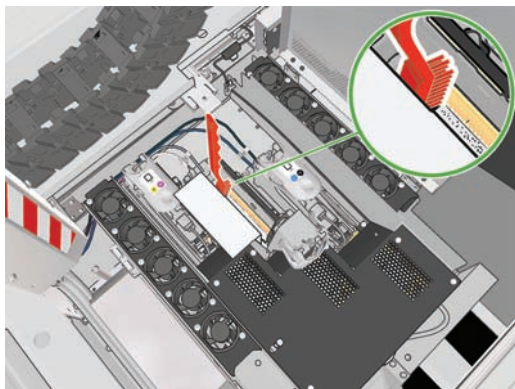
3. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドを再度取り外します。キャリッジ内のプリントヘッド スロットを光で照らし、プリントヘッドと接する電極部分が汚れていないか確認します。

電極部分の後ろに白い紙を置くと、コントラストが強調され、汚れを確認するのに役立つ場合があります。



電極部分が汚れているように見える場合は、次のようにクリーニングします。

- a. プリンタの電源を切ります。
- b. 1 枚の用紙をキャリッジの下に置き、問題の原因となっている汚れをすべて集めます。
- c. クリーニング キットのブラシを使用して、電極部分を丁寧によくクリーニングします。



- d. 空気圧式エア ガン (スピンドルを膨らませるためのもの) を使用して、残っている汚れをすべて除去します。紙や布を使用すると、汚れが広がらないようにすることができます。
  - e. 使用した紙または布をすべて取り除いて、汚れが広がらないようにします。
  - f. 電極部分をもう一度光で照らし、汚れておらず、破損していないことを確認します。
4. プリンタヘッドをキャリッジに再び取り付け、フロントパネルのメッセージを確認します。
  5. 問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを挿入します。
  6. 問題がまだ解決しない場合は、サービス担当者に連絡します ([74 ページの「HP カスタマー・ケア・センター」](#)を参照)。

## プリントヘッドが過熱している

プリントヘッドは複数の理由で過熱することがあります。

- 室温が高すぎる。
- プリントヘッドのノズルが詰まっている。プリントヘッドのクリーニングによりこの問題を解決できる場合があります (28 ページの「[プリントヘッドのクリーニング](#)」を参照)。
- プリントヘッドの内部で問題が発生している。この場合は交換が必要です。

## 素材にプリントヘッドの傷が付く

プリントヘッドが素材に接触し、傷を付けるときに、一番可能性がある原因は、過熱です。したがって、乾燥温度の低下を試みます。

プリンタ設定の調整方法については、『[ユーザーズ ガイド](#)』を参照してください。

## 不正なプリントヘッド クリーニング ロールのエラー

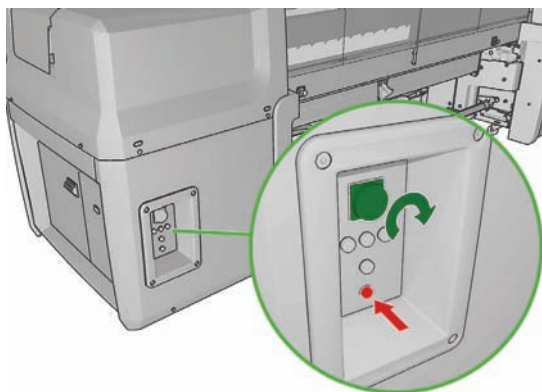
交換が必要な場合を除き、プリントヘッド クリーニング ロールには触らないでください。ロールに干渉が入ると、プリンタがロールの使用状況を把握できなくなり、誤ったエラー メッセージが表示されたり、印刷ジョブが不必要にキャンセルされる場合があります。



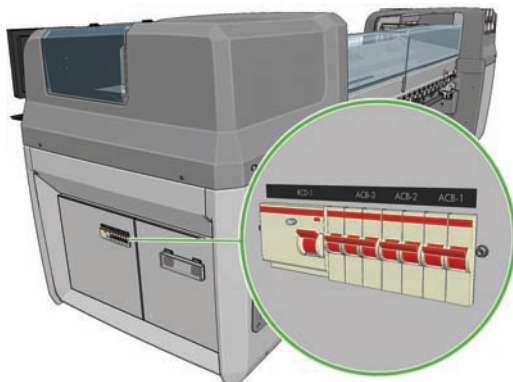
## 9 その他のトラブルシューティング

### プリンタが起動しない

1. 電源スイッチがオンの位置にあることを確認します。



2. 4つの赤色の電源ライトがオンになっていて、ブレーカーがすべて上になっていることを確認します。



3. プリンタの動作時に、ブレーカーのいずれかが落ちる場合 (上から下へ)、プリンタをオフにし、サービス担当者に連絡します ([74 ページの「HP カスタマー・ケア・センター」](#)を参照)。

## プリンタで印刷されない

すべての手順を正しい順序で実行しても (素材およびインク コンポーネントを正しく装着し、ファイルのエラーがない状態)、コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合があります。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルに何も表示されない場合は、電源ケーブルが正しく接続され、電源から電力が供給されているかどうかを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、プリンタの電源を切り、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、サービス担当者にお問い合わせください ([74 ページの「HP カスタマー・ケア・センター」](#)を参照)。

## プリンタの印刷が遅い


プリンタの乾燥モジュールおよび硬化モジュールのウォーミング アップ中に、一時的な遅延が発生する場合があります。

状況により、通常より遅い速度で印刷されることがあります。これはプリントヘッドの過熱を防ぐために意図的に実行されます。プリントヘッドは複数の理由で過熱が始まる場合があります。

- 室温が高すぎる。
- プrintヘッドのノズルが詰まっている ([28 ページの「プリントヘッドのクリーニング」](#)を参照)。
- プrintヘッドに問題があり、交換が必要。


## HP Internal Print Server が IP アドレスを取得できない

DHCP がない場合、プリンタと HP Internal Print Server は IP アドレスを自動的に取得できません。この場合は、次のようにして IP アドレスを手動で設定する必要があります。

1. [セットアップ] アイコン  を選択します。
2. [接続] を選択します。
3. [ギガビット イーサネット] を選択します。
4. [情報の表示] を選択します。
5. [TCP/IP] を選択します。
6. [IPv4 Settings (IPv4 設定)] を選択します。
7. [Config Method (設定方法)] を選択します。
8. [手動] を選択して設定を変更し、プリンタで手動設定が使用されるようにします。
9. [IPv4 Settings (IPv4 設定)] メニューから [Manual Settings (手動設定)] を選択します。
10. [IP アドレス] を選択して設定を編集します。
11. IP アドレス設定を編集し、終了したら、OK を押します。

## HP Internal Print Server がプリンタを検出できない

HP Internal Print Server がプリンタを検出できない場合は、プリンタまたは HP Internal Print Server の設定が正しくない可能性があります。

1. HP Internal Print Server コンピュータのネットワーク設定を確認します (『インストール ガイド』を参照)。
2. 他の目的で正しく動作することがわかっているネットワークにプリンタを接続します。別の方法として、プリンタを HP Internal Print Server のみに接続します。
3. フロントパネルで [セットアップ] アイコン  を選択し、[接続] - [詳細設定] - [工場出荷時の設定に戻す] を選択します
4. プリンタと HP Internal Print Server の電源をオフにしてから、再度オンにします。
5. フロントパネルに IP アドレスが表示されるまで待機します。
6. プリンタのネットワーク設定を HP Internal Print Server から確認します (『インストール ガイド』を参照)。

## HP Internal Print Server のアップグレード

※ ヒント：ファームウェアと HP Internal Print Server をアップグレードする必要がある場合、まずファームウェアをアップグレードしてから HP Internal Print Server をアップグレードします。

HP Internal Print Server をアップグレードするには、次のように進めます。

1. まず、コントロール パネルを使用して現在のバージョンをアンインストールします。その結果、キュー内の現在のジョブが削除されますが、RIP ファイルは削除されません。
2. .ZIP 内の 2 ファイル (HPIPS.msi および setup.exe の 2 ファイルに展開) を物理ハード ドライブの場所 (デスクトップ以外) に解凍します。
3. HP Internal Print Server の新バージョンの setup.exe プログラムを実行します。
4. インストールされたら、HP Internal Print Server を開いて [ツール] - [環境設定] を選択し、プリンタの IP アドレスを入力します。

## 印刷ジョブ ファイルが正しく削除されない


ジョブを完全に削除する方法については、『ユーザーズ ガイド』を参照してください。

## カラー キャリブレーションに失敗する

自動カラー キャリブレーションは、場合によって失敗することがあります。フロントパネルに「Color calibration cancelled because of scanning errors」(スキャン エラーのため、カラー



キャリブレーションがキャンセルされます)というエラーメッセージが表示されることがあります。これには、さまざまな原因が考えられます。

- 現在の素材で、印刷ターゲットの反射カラー測定を確実に実行できません。反射カラー測定は、白以外の紙、透明または半透明の紙、光沢が強い紙、または表面が非常に粗い紙や表面に穴が開いた紙では、信頼できない、または不可能な場合があります。これらの素材には、HP 内蔵分光測光器を使用した自動カラー キャリブレーションを実行できないことがあります。ユーザーズガイドで、サポートされる素材の種類を表を参照してください。インク制限の調整は、HP Internal Print Server を使用して行うことができます。
- クローズドループ カラー キャリブレーションおよびインク制限テスト チャートの一部のカラー測定に不具合があるか、基準マーク (大きい黒色の  マーク) のスキャンに失敗しました。これらの問題には、次の原因が考えられます。
  - 印刷したチャートの視覚的な検査で見つけることができる、不要なしみ、またはプリントヘッドがつぶれた痕が素材に存在します。カラー キャリブレーションの実行前に、素材にしみがなくを確認してください。素材にしわが寄っていると、プリントヘッドがつぶれた痕が発生することがあります。テンションや乾燥および硬化温度などの素材パラメータを調整して問題を解決してください。[63 ページの「素材にプリントヘッドの傷が付く」](#)および[49 ページの「素材にインクが残る」](#)を参照してください。
  - プリントヘッドのつぶれがない場合でも、素材にしわまたは気泡があります。
  - 通常は、低い印刷品質 (バンディングなど) が原因です。[53 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)を参照してください。
- HP 内蔵分光測光器またはライン センサーが正しく機能していません。[26 ページの「ラインセンサーとエアゾール吸入口のクリーニング」](#)を参照してください。問題がまだ解決しない場合は、サービス担当者に連絡します ([74 ページの「HP カスタマー・ケア・センター」](#)を参照)。

# 10 フロントパネルのエラー メッセージ

フロントパネルの画面に、以下のメッセージのいずれかが表示される場合があります。その場合は、[推奨] 列のヒントに従ってください。

ここに示されていないエラー メッセージが表示され、適切な対応が不明な場合、または推奨事項に従っていても問題が解決されない場合は、サービス担当者にお問い合わせください。[74 ページの「HP カスタマー・ケア・センター」](#)を参照してください。

表 10-1 テキスト メッセージ

メッセージ	推奨
{カラー} カートリッジが変更されました	インクカートリッジを交換してください。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
{カラー} カートリッジのインク残量が僅かです	インクカートリッジを交換する準備を開始してください。
{カラー} カートリッジがありません	該当するインクカートリッジを取り付けてください。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
{カラー} カートリッジがインク切れです	インクカートリッジを交換してください。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
{カラー} カートリッジの使用期限が切れています	インクカートリッジを交換してください。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
{カラー} プrintヘッドがありません	該当するPrintヘッドを取り付けてください。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
軸合わせの保留	Printヘッドの軸合わせを実行してください。 <a href="#">9 ページの「Printヘッドの軸合わせ」</a> を参照してください。
不正なPrintヘッドが検出されました	該当するPrintヘッドが取り付けられ、最新のファームウェア リリースがインストールされていることを確認してください。
Printヘッド検出でエラーが発生しました	Printヘッドを取り外し、Printヘッドの電極部分に付いたインクをクリーニングし (ノズルはクリーニングしないでください)、Printヘッドを再度取り付けます。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
ドロップ検出器のインク受けをクリーニングしてください	インク デポジットのクリーニングを実行してください。 <a href="#">25 ページの「インク デポジットのクリーニング」</a> を参照してください。
クリーニング ロールの詰まり。クリーニング ロール モジュールを確認してください。	フロントパネルに移動し、[インク システム] メニューで[ <b>クリーニング ロールの確認</b> ]を選択します。Printヘッドのクリーニング ロール アセンブリを引き出し、ピンチホイールを持ち上げて手動でロールを前方に巻いてから、ピンチホイールを下げてアセンブリをプリンタに押し戻します。
Color calibration cancelled because of scanning errors (スキャン エラーのため、カラー キャリブレーションがキャンセルされます)	現在の素材で、カラー キャリブレーション チャートを正常にスキャンできませんでした。 <a href="#">67 ページの「カラー キャリブレーションに失敗する」</a> を参照してください。
切断されました	プリンタとの接続を確認してください。

表 10-1 テキスト メッセージ (続き)

メッセージ	推奨
インク システムで印刷の準備ができていません	しばらくお待ちください。プリンタが元に戻らない場合は、再起動してください。
IPS から受信したデータが足りないため、ジョブをキャンセルしました	問題が解決しない場合は、HP Internal Print Server コンピュータの設定を確認してください。
ライン センサー キャリブレーション エラー：素材が小さすぎます。	大きい素材を取り付けます。
クリーニング ロールがもうすぐなくなります	プリントヘッド クリーニング ロールを交換する準備を開始してください。
レバーを下げてください	素材押さえハンドルを下げてください。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
保守 #N をお勧めします。HP までご連絡ください	サービス担当者にご連絡ください。74 ページの「 <a href="#">HP カスタマー・ケア・センター</a> 」を参照してください。
素材が取り付けられていません	素材を取り付けてください。
クリーニング ロールがなくなりました	プリントヘッド クリーニング ロールを交換してください。35 ページの「 <a href="#">プリントヘッド クリーニング ロールとエアゾール フィルタの交換</a> 」を参照してください。
プリンタは印刷を続行できません	三相電源が動作していて、周囲の温度が通常の範囲内であることを確認してください。この問題は、素材に開いた穴、反射素材や透明素材、温度センサーの汚れや故障が原因で発生することもあります。
プリンタの温度が下がりません	周囲の温度が通常の範囲内である場合、この問題は印刷後に素材を取り外すのが速すぎる場合にも発生することがあります。印刷後に温度が下がるまで、素材はプリンタに取り付けたままにしてください。
プリンタの温度が上がリません	三相電源が動作していることを確認してください。この問題は、素材に開いた穴、反射素材や透明素材、温度センサーの汚れや故障が原因で発生することもあります。
プリンタはリアームを待っています。電源ボタンを押してください。	プリンタ左下にある <b>電源の有効化</b> ボタンを押します。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
{カラー} プrintヘッドを取り外します	プリントヘッドを取り外します。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
{カラー} カートリッジを交換します	インクカートリッジを交換してください。61 ページの「 <a href="#">インクカートリッジを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される</a> 」を参照してください。
{カラー} プrintヘッドを交換します	プリントヘッドを交換してください。61 ページの「 <a href="#">プリントヘッドを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される</a> 」を参照してください。
エアゾール フィルタを交換してください	両方のエアゾール フィルタを交換してください。35 ページの「 <a href="#">プリントヘッド クリーニング ロールとエアゾール フィルタの交換</a> 」を参照してください。
{カラー} カートリッジを再度取り付けてください	インクカートリッジを再度取り付けてください。61 ページの「 <a href="#">インクカートリッジを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される</a> 」を参照してください。
{カラー} プrintヘッドを再度取り付けてください	プリントヘッドを再度取り付けてください。61 ページの「 <a href="#">プリントヘッドを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される</a> 」を参照してください。
IPS で素材の名前を選択してください	HP Internal Print Server で取付済み素材の名前を選択してください。

表 10-1 テキスト メッセージ (続き)

メッセージ	推奨
素材送りを自動でトラッキングできません	素材送りセンサーは素材をトラッキングできません。センサーはオフになります。10 ページの「 <a href="#">素材送りの補正</a> 」を参照してください。
素材の詰まり：素材を取り外してください	43 ページの「 <a href="#">素材が詰まっている</a> 」を参照してください。
素材が背面のスピンドルから外れているか、滑りが検出されている可能性があります。素材は取り外されます。	44 ページの「 <a href="#">素材がインプット側の芯に取り付けられていない</a> 」を参照してください。
クリーニング ロールがもうすぐなくなります。	プリントヘッド クリーニング ロールを交換する準備を開始してください。

表 10-2 数値エラー コード

エラー コード	推奨
14.2	三相電源が予期せずオフになりました。サービス担当者に連絡の上、インジケータ ライトとヒューズに関する質問に対する答えのご用意をお願いします。74 ページの「 <a href="#">HP カスタマー・ケア・センター</a> 」を参照してください。
14.3	三相電圧が設定されていません。フロントパネルで設定してください。
14.5:12	プリンタを再起動してください。
14.8	緊急停止ボタンが押されました。4 つの緊急停止ボタンをすべて解除してください。ブレーカー ACB-1 をオフにしてからオンにします。
14.9	ヒューズ エラーです。プリンタをオフにします (『ユーザーズ ガイド』を参照)。FH11 ヒューズホルダーを開き、ヒューズを確認してください。必要に応じてヒューズを交換してください。
15.1	プリンタの温度が動作温度まで上昇しません。三相電源が動作していることを確認してください。硬化プレートが水平であることを確認します。この問題は、素材に開いた穴、反射素材や透明素材、赤外線センサーの汚れや故障が原因で発生することもあります。
15.2	プリンタの温度が動作温度まで下がりません。サービス担当者にお問い合わせください。74 ページの「 <a href="#">HP カスタマー・ケア・センター</a> 」を参照してください。
16.1	プリンタの温度が動作温度まで上昇しません。三相電源が動作していることを確認してください。LX800 のみ：硬化プレートが水平である場合は下げます。
16.2	プリンタの温度が動作温度まで下がりません。周囲の温度が通常の範囲内である場合、この問題は印刷後に素材を取り外すのが速すぎる場合にも発生することがあります。印刷後に温度が下がるまで、素材はプリンタに取り付けたままにしてください。
41.1:03, 41.3:10, 41.4:03	プリンタを再起動してください。
44.1:03	素材の詰まりの可能性があります。実際に素材の詰まりになっている場合は、43 ページの「 <a href="#">素材が詰まっている</a> 」を参照してください。素材の詰まりでない場合は、プリンタを再起動してください。
44.2:10, 44.3:10, 44.4:03	プリンタを再起動してください。
45.1:03	素材の詰まりの可能性があります。実際に素材の詰まりになっている場合は、43 ページの「 <a href="#">素材が詰まっている</a> 」を参照してください。素材の詰まりでない場合は、プリンタを再起動してください。
45.2:10, 45.3:10, 45.4:03	プリンタを再起動してください。
46.1:01	イエロー/マゼンダ プリントヘッド プライマに問題があります。30 ページの「 <a href="#">プリントヘッド プライマの保守</a> 」を参照してください。
46.2:01	ライト シアン/ライト マゼンダ プリントヘッド プライマに問題があります。30 ページの「 <a href="#">プリントヘッド プライマの保守</a> 」を参照してください。
46.3:01	シアン/黒プリントヘッド プライマに問題があります。30 ページの「 <a href="#">プリントヘッド プライマの保守</a> 」を参照してください。

表 10-2 数値エラー コード (続き)

エラー コード	推奨
47.1:03	プリントヘッド クリーニング進行モーターが、ワイパー駆動運動を正常に実行できませんでした。ピンチ モジュールが正しく閉じていないか、ロールの経路が詰まっているため、ローラーが素材を移動できません。
48.1.1	キャリッジ ビーム エラーです。プリンタを再起動し、フロントパネルに移動して素材管理アイコンを選択し、次に <b>【キャリッジ ビーム位置】</b> - <b>【キャリッジ システムのリカバリー】</b> の順に選択します。
48.1.3	キャリッジ ビーム エラーです。プリンタを再起動してください。エラーがまだ解決しない場合は、サービス担当者に連絡します (74 ページの <b>「HP カスタマー・ケア・センター」</b> を参照)。エラーは報告されていなくても素材送りに問題が引き続き発生している場合は、フロントパネルの素材管理アイコンを選択し、次に <b>【キャリッジ ビーム位置】</b> - <b>【キャリッジ システムのリカバリー】</b> を選択します。
48.1.4	キャリッジ ビーム エラーです。プリンタを再起動してください。エラーがまだ解決しない場合は、サービス担当者に連絡します (74 ページの <b>「HP カスタマー・ケア・センター」</b> を参照)。エラーは報告されていなくても素材送りに問題が引き続き発生している場合は、フロントパネルの素材管理アイコンを選択し、次に <b>【キャリッジ ビーム位置】</b> - <b>【キャリッジ システムのリカバリー】</b> を選択します。
48.1.5	キャリッジ ビーム エラーです。プリンタを再起動してください。
50:01	素材送りセンサーは、センサーが汚れているか故障している、または素材の種類をセンサーが感知できない、といういずれかの理由で素材をトラッキングできません。素材送りセンサーをクリーニングします (28 ページの <b>「素材送りセンサーのクリーニング」</b> を参照)。エラーが解消されない場合は、現在の素材の種類に対して素材送りセンサーをオフにします。すべての素材でエラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡します。74 ページの <b>「HP カスタマー・ケア・センター」</b> を参照してください。
50:03, 50.1:10, 50.2:10	素材送りセンサーが動作していません。プリンタを再起動してください。エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡します。74 ページの <b>「HP カスタマー・ケア・センター」</b> を参照してください。素材送りセンサーなしで印刷することもできますが、印刷品質が影響を受けることがあります。
65.04	プリンタを再起動してください。
68	この警告メッセージは、プリンタの内部カウンターが正常に機能していないことを示します。早いうちにプリンタを再起動してください。
78.1:04	素材プリセットが損傷しているか、ありません。取り付け済み素材の新しいプリセットをインポートまたは作成してください。『ユーザーズ ガイド』を参照してください。
78.2:01	素材が背面のスピンデルから外れているか、芯がスピンデルで滑っている可能性があります。これは、ロール紙の末端に到達したか、スピンデルが正しく膨らんでいないか、デュアルロールのディファレンシャル ハブがロックされていることを示している可能性があります。素材は取り外されます。
81:01	素材の詰まりの可能性があります。実際に素材の詰まりになっている場合は、43 ページの <b>「素材が詰まっている」</b> を参照してください。素材の詰まりでない場合は、プリンタを再起動してください。

# 11 ヘルプが必要な場合

## マニュアル

以下のマニュアルがプリンタに付属しています。また、<http://www.hp.com/go/LX600/manuals/>または <http://www.hp.com/go/LX800/manuals/>からダウンロードすることも可能です。

- サイト準備ガイド
- サイト準備チェックリスト
- ユーザーズ ガイド
- メンテナンスおよびトラブルシューティング ガイド
- 法律情報

## HP Proactive Support

HP Proactive Support によってプリンタの問題が顕在化する前に問題の識別、診断、および解決ができ、プリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。HP Proactive Support ツールは、サポートにかかるコストを削減しながら生産性を最大限発揮できるように、あらゆる規模のビジネスをお手伝いします。クリックするだけで、すべての操作を行うことができます。

HP Imaging and Printing サービス スイートのコンポーネントの 1 つである Proactive Support は、投資価値の最大化、プリンタ稼働時間の拡大、およびプリンタ管理コストの削減に主に焦点を当てた、印刷環境の管理を支援するサービスです。

HP では、プロアクティブ サポートを今すぐ有効化して時間を節約し、問題を未然に防ぐようお勧めしています。これによってプリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。またプロアクティブ サポートは、診断を実行してソフトウェアとファームウェアのアップデートをチェックします。

[ツール] - [プロアクティブ サポート] の順に選択すれば、HP Internal Print Server でプロアクティブ サポートを有効化して、コンピュータと HP の Web サーバとの接続の頻度、および診断チェックの頻度を指定できます。また、診断チェックは手動で実行することもできます。

プロアクティブ サポートによって潜在的な問題が発見された場合は、アラートで通知され、問題の説明と共に解決方法が推奨されます。場合によっては、解決方法が自動的に適用される場合があります。その他の場合には、問題の解決手順を実行するよう求めるメッセージが表示されます。

## HP カスタマー・ケア

HP カスタマー・ケアは、その優れたサポート内容が評価され、受賞経験もあります。お使いのプリンタから常に最高の結果を得られるようなサポートをご提供します。弊社は、サポートに関する幅広く信頼性の高い専門知識を有し、常に新しい技術を効果的に使用することで、細かなサポートをご提供します。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話と Web によるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HP カスタマー・ケアについての詳細は、以下の弊社 Web サイトをご覧ください。



<http://www.hp.com/go/graphic-arts/>

または、お電話でお問い合わせください ([74 ページの「HP カスタマー・ケア・センター」](#)を参照)。保証の登録先 :

<http://register.hp.com/>

## HP カスタマー・ケア・センター

ヘルプはお電話でご利用いただけます。お問い合わせになる前に、以下を行ってください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 関連する場合は RIP のマニュアルを参照してください。
- 次の情報をご用意ください。
  - お使いのプリンタ : 電気コンパートメントのドアのラベルに記載されている、製品番号とシリアル番号
  - フロントパネルにエラー コードが表示される場合は、エラー コードをメモに取ります ([69 ページの「フロントパネルのエラー メッセージ」](#)を参照)。
  - プリンタのサービス ID
  - 現在使用中の RIP とそのバージョン番号
  - 現在使用中のソフトウェア アプリケーションとそのバージョン番号
  - **[ヘルプ] - [バージョン情報]** の順に選択し、HP Internal Print Server で表示されるテキスト

### 北米

電話番号:800 925 0563

Fax:952 943 3695

電子メール:cs.custsup@hp.com

### 欧州、中東、アフリカ

電話番号:+32 2 7283444

Fax:+31 207157536

電子メール:LF.MV.Support@hp.com

### アジア、太平洋

電話番号:+852 8103 2666

電話番号:00 801 85 5945 (台湾のみ、通話料無料)

Fax:+852 2187 2218

電子メール:hsap.carecenter@hp.com

### ラテン アメリカ

選択メニューからオプション 2/オプション 6 をダイヤルしてください。

アルゼンチン : 5411 470 816 00

ブラジル : 52 55 5258-9922  
チリ : 562 436-2610 / 800 360 999  
コロンビア : 571 602 9191 / 01 8000 51 4746 8368  
コスタリカ : 0 800 011 0524  
ドミニカ共和国 : 1 800 711 2884  
グアテマラ : 1 800 999 5105  
ホンジュラス : 800 0 123 / 1 800 711 2884  
メキシコ : 52 55 5258-9922  
ニカラグア : 1 800 0164 / 800 711 2884  
パナマ : 001 800 711 2884  
ペルー : 511 411 2443 / 0 800 10111  
エルサルバドル : 800 6160  
ベネズエラ : 58 212 278 8666 / 0 800 474 68368  
CC LAR Nextel:(5255) 1088 0884; ID 52\*20115\*51  
CC LAR 電子メール : carecenter.ipglf.lar@hp.com  
CC LAR Fax:+52 55 5258 6377

## サービス情報

要求すれば、プリンタでは現在のステータスに関するさまざまな側面のリストが提供されます。この情報の一部は、サービス技術者が問題を解決するときに役立ちます。このリストを要求するには 2 つの方法があります。

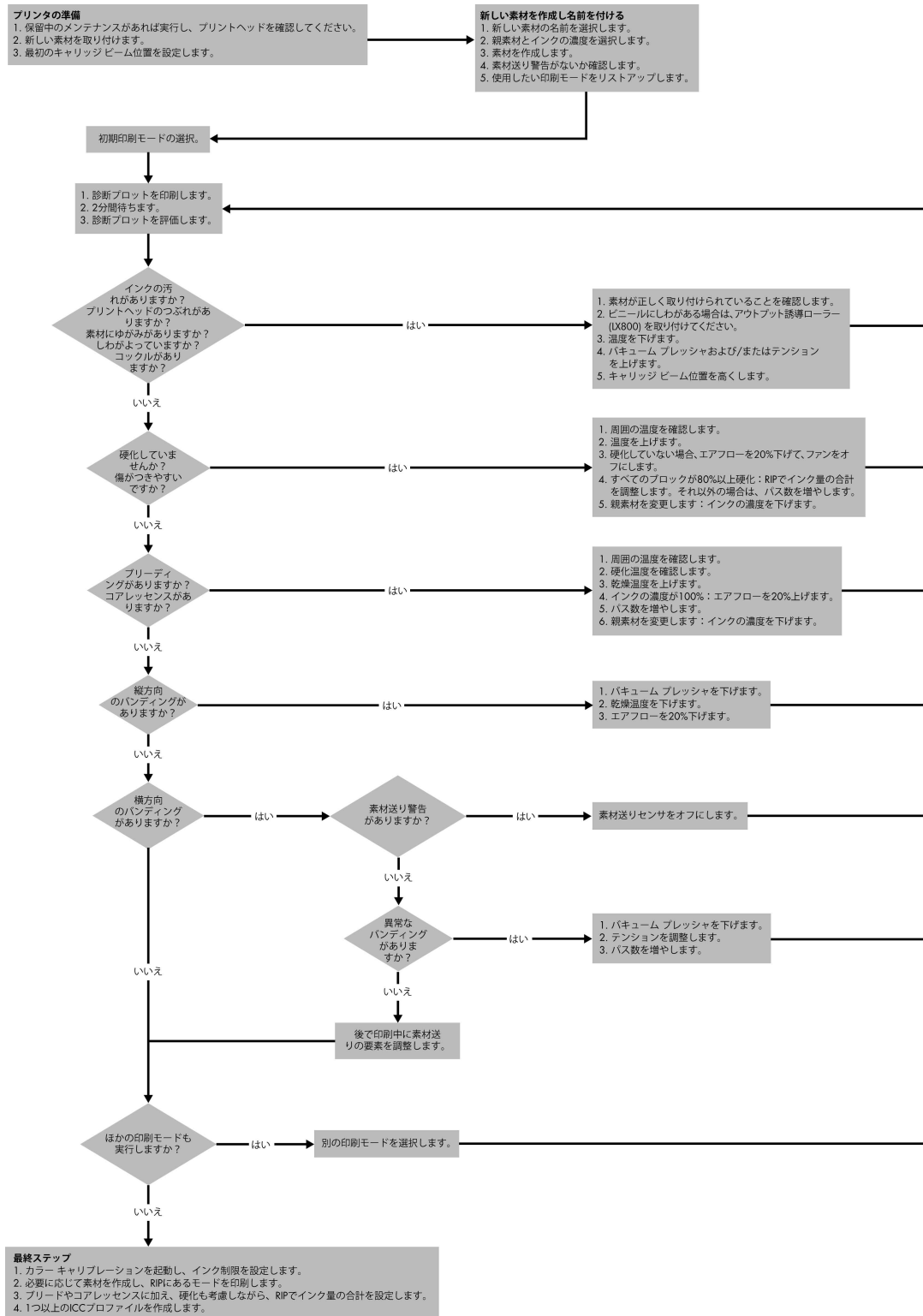
- HP Internal Print Server で、**【情報】** - **【サービス情報】** の順に選択します。
- インターネットにアクセスできるコンピュータで、Web ブラウザにプリンタの URL を入力し、続けて `/hp/device/webAccess/allServicePlot.htm` と入力します。たとえば、プリンタの URL が **http://123.123.123.123** である場合、`http://123.123.123.123/hp/device/webAccess/allServicePlot.htm` と入力します。

リスト全体を要求できますが、生成にはかなり時間がかかります。または、リストの特定の部分だけを要求することもできます。不明な場合は、リスト全体を要求してください (**【全ページ】** を選択)。

電子メールでリストを送信する必要がある場合、Web ブラウザからそのページをファイルとして保存できるので、後でそのファイルを送信してください。その他の方法としては、次の方法で Internet Explorer からページを直接送信することもできます。**【ファイル】** - **【送信】** - **【ページを電子メールで】** の順に選択します。



# A プリセット作成フロー





# 索引

## H

HP Internal Print Server

アップグレード 67

保守 41

HP Proactive Support 73

HP カスタマー・ケア 73

## I

IP アドレス

手動で設定する 66

## P

Proactive Support 73

### □

アラート

エラー 7

アラート、警告 7

### □

インクカートリッジ

取り付けられない 61

取り付け直す 61

保守 19

インク コレクター フォーム

交換 33

インク デポジット

保守 25

インク制限 14

### □

エアゾール フィルタ

保守 35

エッジホルダー

クリーニング 29

エラー メッセージ

フロントパネル 69

### □

カスタマー・ケア 73

カラー キャリブレーション 12

カラー キャリブレーションがキャンセルされる 13

カラー プロファイル 15

### □

キャリッジ カバー、クリーニング 21

キャリッジ レール、クリーニング 21

キャリッジ油性フォーム、交換 22

キャリブレーション

カラー 12

### □

クリーニング キット 40

### □

コレクター

スキューまたははまり込み 46

巻き取りを停止する 45

間違った方向で巻き取る 45

素材が外れる 46

素材の詰まり 46

断続的に失敗する 45

### □

サービス情報の印刷物 75

サポート サービス

HP Proactive Support 73

HP カスタマー・ケア 73

### □

テンション ローラー

クリーニング 30

### □

バンディングの問題 10

### □

ピンチ ホイール

クリーニング 27

### □

ファームウェアをアップデートする 42

プライマの保守 30

プラテン

クリーニング 27

プリンタが起動しない 65

プリンタ ステータス 7

プリンタで印刷されない 66

プリンタの移動 39

プリンタをクリーニングする 25

プリンタ未検出 67

プリントヘッド

クラッシュ 63

クリーニング 10

過熱 63

確認 19

軸合わせ 9

取り付けられない 61

取り付け直す 20

損傷した素材 63

保守 19

プリントヘッド クリーニング ロール

エラー 63

保守 35

プリントヘッドの電極部分

クリーニング 62

### □

マニュアル 73

### □

メイン ローラー

クリーニング 27

### □

ライン センサー

クリーニング 26

ライン センサー ボックス

交換 35

ラベル、警告 3

### □

安全に関する注意事項 1

安全ラベル 3



印刷が遅い 66  
印刷品質の問題  
    カラーの位置がずれる 56  
    バンディング 53  
    一般的な 53  
    横線 53  
    色が正確に再現されない 60  
    段状になっているかまたは鮮明  
        ではない端 60  
    剥げ落ちたカラー 60  
    白い直線 56  
    不鮮明な印刷 59  
    粒状感 58  
温度センサー  
    クリーニング 29  
過熱プリントヘッド 63  
緊急停止ボタン 5  
警告 3  
警告ラベル 3  
硬化プレート  
    クリーニング 24  
自動トラッキング 10  
色が正確に再現されない 60  
正しく削除されないファイル 67  
素材  
    インクが残る 49  
    インクの汚れ 50  
    オイルの汚れ 50  
    しわ 47  
    プラテンに張り付く 46  
    乾燥していないインク 46  
    詰まっている 43  
    取り付けられない 43  
    芯から外れている 44  
    素材送りの補正 10  
    平らではない 46  
    保守 19  
素材のエッジホルダー  
    クリーニング 29  
素材を取り付ける  
    取り付けられない 43  
素材送りセンサー  
    クリーニング 11  
注意 3  
電磁波による障害 66  
電話によるサポート 10  
動的カラー登録 15  
剥げ落ちたカラー 60  
不鮮明な印刷 59  
保守キット 40  
誘導ローラー  
    クリーニング 24  
雷雨 66  
粒状感 58